

特31

454

第一編

卷三

河内誌

和泉誌

攝津誌

飯島半郎
著

日本地誌

畿内之部

三

特31
454

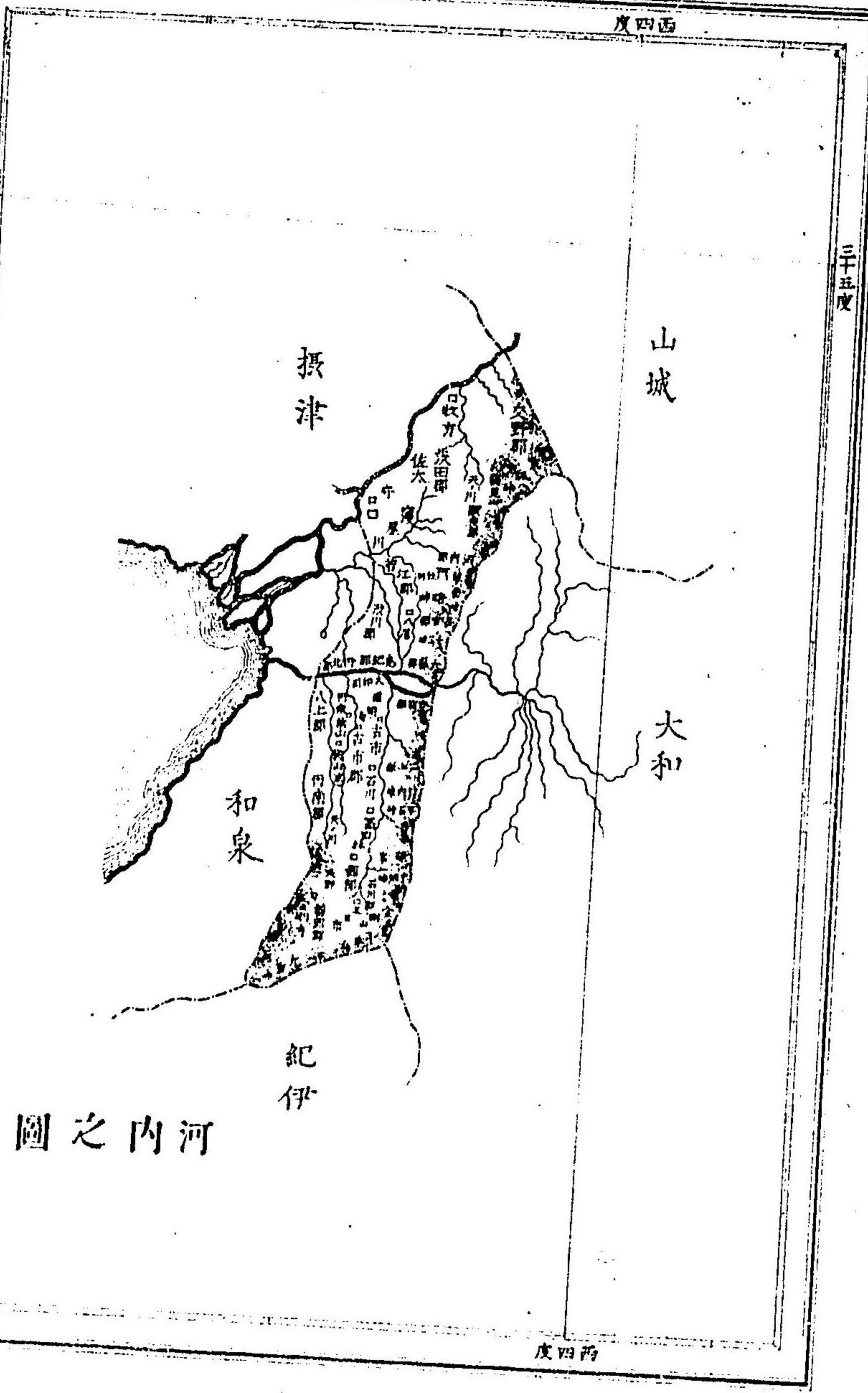
日本地誌卷三

目錄

河内誌
和泉誌
攝津誌

日本地誌

卷三 目錄



河内之圖

度四西

三千五度

日本地誌卷三

飯島半十郎 編輯

那珂 通高 校正

河内誌

○位置

河内國ハ、東ハ大和ニ界シ、南ハ紀伊ニ接シ、西北ハ和泉、攝津、山城ニ連ル。大河此ノ國ノ西北ヲ繞ルヲ以テ、名クト云ヘリ、此ノ國上古ハ、オホシカ河内國ト稱セシカ、元明天皇ノ時、允ノ字ヲ削リテ、河内トス、類聚國史ニ、元正天皇靈龜四年大鳥日根和泉ノ三郡ヲ割キテ、和泉國ヲ置クト、

初反正天皇此ノ國ノ丹比ニ都ス、コレヲ紫籬宮ト云フ、
後一條天皇ノ時、源賴信此ノ地ニ興リ、東征ノ功アリ、因
リテ河内守ニ任セラル、其ノ子賴義、義家等皆王家ニ功
アリ、後醍醐天皇ノ吉野ニ幸スル、捕正成兵ヲ興シテ、天
皇ヲ奉ス、足利氏ノ時、畠山氏封ヲ此ノ國ニ受ク、後遂ニ
織田氏ノ有トナル、天正年間豊臣氏此ニ布政司ヲ置ク、
徳川氏ニ至リテ、高木北條ノ小諸侯ヲ封シ、其ノ他ノ地
ハ、皆塚奉行、コレヲ司ル、王政維新ノ後、塚縣ノ所轄トナ
ル、全國十六郡、曰ク錦部、曰ク石川、曰ク古市、曰ク安宿、曰
ク大縣、曰ク高安、曰ク河内、曰ク讚良、曰ク茨田、曰ク交野、

曰ク若江、曰ク澁川、曰ク志紀、曰ク丹北、曰ク丹南、曰ク八
上、是レナリ、全國地勢東南ハ高クシテ、西北ハ低シ、故ニ
土人國ノ南ヲ上ト云ヒ、國ノ北ヲ下ト云フ、土地膏腴ニ
シテ、五穀豐饒ナリ、風俗ハ、柔和ニシテ、美麗ヲ好ミ、婦人
ノ容姿ハ、西京ニ似タリ、氣候ハ、極暑九十三度、極寒三十
八九度、

○土地

錦部郡ハ、國ノ南ニアリテ、西南ハ紀伊、和泉ニ隣ル、全郡
四十九村、此ノ郡ノ市場ハ、錦部、三日市、天野等ナリ、天野
山、金剛寺ハ、僧行基ノ開基ニシテ、古來山水絶景ノ地ト

稱ス、後村上天皇此ノ地ニ臨幸アリテ、行宮ヲ造營ス、寺ニ古器古書畫ヲ藏スル多シ、其ノ南、日野村ニ瀑布アリ、其ノ長二丈五尺、幅一間二尺、飛泉鹽氣ヲ帶フ、故ニ潮瀧ト名ツク、又瀧畑村ニモ光明瀑アリ、一ニ光瀑ト云フ、其ノ長九丈三尺余、幅一間二尺余、三日市ハ、高野ノ道ニ當リテ、旅店多ク、此ノ地ノ娼妓、其ノ風姿他ニ異ニシテ、頗美麗ナリ、其ノ北ニ、烏帽子形ノ城址アリ、蓋山勢烏帽子ニ似タル故ニ名ツク、古昔碓井大和守此ニ據ル、又其ノ傍ニ、金胎寺ノ城址アリ、建武年間南軍此ニ據ル、其ノ東觀心寺ハ、僧實慧ノ創建ニシテ、楠正成ノ墳墓アリ、正成

ノ攝州湊川ニ死スル、足利尊氏其ノ精忠ヲ感シテ、首ヲ河内ニ送ル、因リテ此ニ葬ル、土俗首塚ト云フ、正成ハ、橘氏後醍醐天皇ノ笠置ニ幸スル、夢兆ヲ以テ正成ヲ召ス、正成感激シテ、天皇ノ為ニ、千早赤坂ノ二城ヲ築キ、東軍ヲ禦ク、是ニ於テ天下ノ義士沛然トシテ、雲ノ如ク起リ、遂ニ元惡ヲ斧鉞ノ下ニ殄戮シ、再日月ノ光ヲ仰クコトヲ得シム、其ノ後尊氏ノ叛キテ京都ニ迫ル、正成又討チテコレヲ西海ニ走ラス、尊氏九州ノ兵ヲ率キテ、京都ニ入ラントスルニ及ヒテ、新田義貞コレヲ禦キ、軍利アラスシテ、退ク、因リテ正成ヲシテコレヲ援ケシム、正成策ヲ

獻シテ用キラレス、遂ニ湊川ニ戰死ス、其ノ精忠金石ヲ貫ク、後世人臣ノ龜鑑タリ、觀心寺ニ後村上天皇ノ陵アリ、檜尾陵ト云フ、天皇諱ハ、義良、後醍醐天皇ノ第九子ナリ、南朝正平二十四年、三月十一日崩ス、陵ハ、林中ニアリテ、上ニ椿樹多シ、南方紀傳ニ、南朝正平二十四年、十月、足利官領細川頼之、南朝ニ奏聞シテ、南北和陸ノ事ヲ陳スト、雖公卿武家コレヲ聽カス、當時南朝ノ地ハ、河内、大和、和泉、紀伊、伊賀、伊勢、志摩、飛騨、信濃、上野、越中、越後、伊豫、備前、石見、長門、肥後、日向、大隅、薩摩、總ヘテ二十國、北國ニハ、征東將軍宗良親王アリ、九州ニハ、征西將軍懷良親王アリ

リ、勢州ニハ、國司北畠アリト云ヘリ、當時南朝ノ勢熾ナルコト、此ノ如クナレハ、其ノ和議ヲ聽カサルモ、亦宜ナルカナ、此ノ郡ノ西、和泉ニ近キ地ニ、多ク煙草ヲ産ス、世又コレヲ和泉新田煙草ト云フ、○石川郡ハ、四十六村、國ノ東南ノ隅ニアリテ、山岳多ク、又城址多シ、千早ト云ヒ、赤坂ト云ヒ、龍泉ト云ヒ、平石ト云ヒ、小根田ト云フ、千早、赤坂ハ、皆正成ノ築ク所ニシテ、千早ハ、金剛山ノ半腹ニアリ、山勢峩々トシテ、城壘深谷ニ臨ミ、當時最要害ノ地ト稱ス、赤坂ハ、金剛山ノ麓、水今村ノ上ニアリ、關東八十萬ノ兵、コレヲ圍ム、天下未應スル者アラス、正成佯リテ

自殺ノ状ヲナシ、火ヲ放チテ遁レ去ルト云フ、水子村ハ、
正成ノ生セシ所ナリ、今其ノ跡ニ大將軍祠アリ、龍泉寺
ノ城ハ、楠正儀、和田正武等コレニ據リ、平石ノ城ハ、平石
右衛門尉コレヲ守リ、小根田ノ城ハ、平野將監コレヲ守
リ、南朝ニ屬シテ、東軍ヲ禦キシト云フ、後平野將監反ス、
帝陵モ亦多シ、孝徳天皇ノ陵ハ、山田村ニアリ、大坂磯長
陵ト云フ、一ニコレヲ鶯陵ト唱フ、其ノ傍ニ鶯関アリ、故
ニ名ツク、天皇天萬豊日ト號ス、皇極天皇ノ同母弟ナリ、
天皇佛法ヲ尊ヒ、神道ヲ輕ンシ、又トナリ、柔順ニシテ、貴
賤ヲ擇ハス、頻ニ恩勅ヲ降ス、白雉五年十月難波長柄豊

岸宮ニ崩シテ、同十二月大坂磯長陵ニ葬ルト云ヘリ、廟
陵記ニ、陵所ハ、石川郡山田村ニアリ、大坂磯坂ハ、分明ナ
ラスト、河内志ニ鶯関ヲ讀良郡ニアリトスルハ、非ナリ、
又春曙抄此村ニ鶯陵ハ、百舌鳥陵ト注セリ、是レモ亦
非ナリ、推古天皇ノ陵ハ、山田村ノ東南ニアリ、磯長山田
陵ト云フ、土人コレヲ高塚ト呼フ、天皇諱ハ、豊御食炊屋
姫、初額田部ト稱ス、欽明天皇ノ女ニシテ、用明天皇ノ同
母妹ナリ、日本紀ニ、額田部姿色美麗ニシテ、年十八敏達
天皇ノ皇后トナル、天皇崩シテ、崇峻天皇立ツ、蘇我馬子
天皇ヲ弑ス、因リテ群臣相議シ、敏達天皇ノ皇后ヲ推シ

テ、位ニ即カシム、天皇在位三十七年ニシテ崩ス、壽七十
五、用明天皇ノ陵ハ、春日村ニアリ、河内磯長原陵ト云フ、
一ニ園明土ト稱ス、天皇諱ハ、橘豊日、欽明天皇ノ第四子
ナリ、在位二年ニシテ崩ス、天皇深ク佛法ヲ尊信ス、敏達
天皇ノ陵ハ、葉室村ニアリ、磯長中尾陵ト稱ス、土人天王
山ト名ツク、天皇淳仲倉太珠敷ト號ス、欽明天皇ノ第二
子ナリ、此ノ時佛法熾ニ行ハル、天皇詔シテ塔殿ヲ燒キ、
佛像ヲ棄テシム、天皇在位十四年ニシテ崩ス、此ノ郡ノ
東、二上山ノ溪間ヨリ金剛鑽ヲ産ス、山田ノ村民コレヲ
採リテ、生計トス、玉匠水晶瑪瑙其ノ他玉石ヲ鑽ルニ、皆

コレヲ用ヰル、又山田村ノ邊ニ、紫艸及茜草ヲ産ス、紫草
ハ、其ノ花桔梗ニ似テ小ナリ、茜草ハ、其ノ花白シ、皆根株
ヲ掘リ乾カシテ、絹帛綿布ヲ染ム、コレヲ山田染ト云フ、
又富田林ノ邊ニ、葡萄ヲ産ス、其ノ味極メテ美ナリ、此ノ
郡ノ市場ハ、富田林、上太子等ナリ、富田林ハ、舊富田芝ト
稱セシ平原ナリシカ、天正ノ頃ヨリ、高賈貿易ノ地トナ
ル、最酒家多シ、市坊一十四、人口二千零々三人アリ、○古
市郡ハ、一十三村、東南ハ、石川郡ヲ限リ、西ハ丹南北ハ安
宿、志紀ノ二郡ヲ限ル、此ノ郡ノ繁華場ハ、古市ヲ第一ト
ス、人口一千四百八十二アリ、地ニ寺院アリ、西琳寺ト云

フ、舊向原寺ト號ス、古昔欽明天皇ノ十三年、百濟國ヨリ
佛像幡蓋ヲ獻ス、帝始メテ佛像ヲ尊信セントス、弓削守
屋コレヲ諫ム、因リテ佛像ヲ蕪我稻目ニ賜フ、稻目コレ
ヲ向原ノ邸ニ安置シ、殿堂ヲ建立シ、向原寺ト號ス、是レ
我國佛法ノ濫觴ナリ、古市ノ南、高屋村ニ安閑天皇ノ陵
アリ、古市高屋陵ト云フ、一ニ城山ト字ス、天皇廣國押武
金日ト號ス、繼體天皇ノ長子ナリ、在位二年ニシテ崩ス、
壽七十一、其ノ西ニ清寧天皇ノ陵アリ、河内坂門原陵ト
云フ、一ニ白髮山ト字ス、天皇白髮長廣國押稚日本根子
ト號ス、雄略天皇ノ第三子ナリ、天皇生レテ白髮故ニ當

時白髮帝ト稱ス、在位五年ニシテ崩ス、又古市ノ北、譽田
村ニ應神天皇ノ陵アリ、惠我藻伏山岡陵ト云フ、長野山
ト字ス、陵上ノ松柏青々トシテ、古色アリ、天皇ハ仲哀天
皇ノ第四子ナリ、在位十一年ニシテ、大和ノ輕島ニ崩ス、
譽田ハ幡ハ、即天皇ニシテ、例祭ハ、毎年八月十五日ナリ、
其ノ東ニ壺井村アリ、此ノ國ハ、往時源家任國ノ地ナル
ヲ以テ、此ノ村ニ源賴信ノ館址アリ、賴信ノ子、賴義、義家
等皆此ニ生シ、王家ニ功アリシハ、人ノ能ク知ル所ナリ、
徳川氏五代ノ將軍綱吉、此ニ堂宇ヲ建テ、長ク源家宗廟
ノ地トス、其ノ東、駒ヶ谷村ハ、大和ノ道ニ當リテ、毎年春

秋ニ牛市アリ、遠近ノ人、牛ヲ牽キ來リテ賣買ス、頗雜沓ナリ、此ノ地ニ古寺アリ、金剛輪寺ト云フ、古鈴、古鏡、古劍、金環等ヲ藏ス、此ノ郡ノ城址ハ、古市ノ高屋城ナリ、應永年間、畠山義深此ノ國ヲ領セシ時、建テタル所ナリ、其ノ子基國、南朝ノ遺族ヲ招集シ、威名一時ニ振フ、天正年間、其ノ裔高政、此ニ居リテ松永久秀ニ黨ス、久秀ノ亡フル高政モ亦亡フ、○安宿郡ハ、西ハ志紀郡ニ界シ、北ハ大縣郡ニ隣リ、南ハ石川、古市二郡ニ接ス、郡小ニシテ地僻ナリ、全郡四村、其ノ著名ナルヲ國分村トス、市街一十七、人口一千九百五十七人アリ、古昔國分寺アリシ地ナリト

云フ、玉手村ニ、玉手山安福寺アリ、僧正行基ノ創ル所ナリ、堂宇皆古製ニシテ頗奇觀タリ、好事家此ノ製ニ倣ヒ、居宅ヲ營ミ、コレヲ珂憶建ト云フ、珂憶ハ、此ノ寺中興ノ僧ナリ、元和元年大坂夏ノ役ニ、後藤基次、薄田兼相等城ヲ出テ、伊達氏ノ將片倉小十郎景綱ト戦ヒ、基次ハ、銃手菽又市ニ斃サレ、兼相ハ、騎士河村新八ニ殺サル、其ノ地實ニ此ノ郡ノ玉手、片山ノ邊ナリト云フ、○志紀郡ハ、安宿郡ノ西ニアリテ、此ノ郡モ亦小ナリ、全郡二十二村、澤田村ニ、允恭天皇ノ陵アリ、惠我長野北陵ト云フ、市野山ト字ス、帝雄朝津間稚子宿禰ト號ス、反正天王ノ同母

道明寺



弟ナリ、在位四十二年ニシテ崩ス、其ノ東南、土師里ニ、道明尼寺アリ、聖徳太子ノ開基ニシテ、八島連詔ヲ奉シ、堂宇ヲ建ツ、舊記ニ、八島連ハ、今様ヲ諷ヒ初メシ人ナリト云フ、寺中楯ヲ製ス、世人コレヲ道明寺ト云フ、道明寺ノ北、舟橋村ニ水仙花多シ、玉玲瓏、金盞、銀臺等各種ノ名アリテ、風流ノ

客、コレヲ玩フ、○丹南郡ハ、東ハ石川、古市ノ二郡ニ界シ、西ハ八上及和泉ノ大鳥郡ニ隣リ、南ハ錦部、北ハ志紀、丹北ニ接ス、全郡五十二村、此ノ郡、陣營アリ、狹山ト云ヒ、丹南ト云フ、徳川氏ノ時、高木氏丹南ニアリテ、其ノ封ハ一萬石ナリ、北條氏ハ、狹山ニアリテ、亦一萬石ナリ、北條氏ハ、舊伊勢氏一稱ス、伊勢氏ハ平維衡ニ出ツ、其ノ裔新九郎長氏、伊豆ニ興リ、威ヲ関東ニ振フ、數傳シテ、民政ニ至リ、豊臣氏ニ滅サル、後、氏政ノ弟、氏規、此地ニ封セラレ、一萬石ヲ領ス、徳川氏ノ時、封土舊ノ如シ、高木氏ノ先ハ、多田満仲ニ出ツ、其ノ後裔主水正正次ノ父、清秀ハ、三河

國ノ住人ニシテ、初織田氏ニ屬シ、後徳川氏ニ事ヘ、各地ノ戦ニ功アリ、正次父ニ繼キ、又亦功アルヲ以テ、此ノ地ニ封セラレ、郡ノ東ニ葛井寺アリ、僧正行基ノ開基ニシテ、楠正行三百騎ヲ以テ、細川顯氏ノ大軍ヲ敗リシ古戰場ナリ、其ノ南、岡村ニ仲哀天皇ノ陵アリ、惠我長野西陵ト云フ、美佐武佐伊ト字ス、帝諱ハ、足仲彦、日本武尊ノ弟ニ子ナリ、在位九年ニシテ崩ス、廟陵記ニ、陵ハ、錦部上原ニアリト云ヒ、帝王譜畧國朝紀ニハ、殖香長野林陵ト云ヒ、國郡全圖ニハ、錦部郡ニ載ス、河内名所圖繪ニハ、錦部上原ノ傍ニアルハ、高向王ノ墓ニシテ帝陵ニアラスト

云ヒ、日本紀ニハ、天皇ヲ河内國長野陵ニ葬ムルト云フ、長野陵ハ、舊志紀郡ニアリ、即今ノ丹南郡ナリ、此ノ陵ノ南、野口上村ニ、仁賢天皇ノ陵アリ、植生坂本陵ト云フ、壯計山ト字ス、天皇諱ハ、大脚字ハ、島郎、初メ億計ト稱ス、顯宗天皇ノ同母兄ナリ、在位十一年ニシテ崩ス、河内志ニ、陵ハ、黒山村ニアリトスル者非ナリ、黒山村ニ、荒陵アリ、周匝百五十間、基山ト字ス、何ノ帝陵ナルカラ知ラス、一説ニ、大和國高市郡ナル天武天皇ノ陵ヲ遷シタル者ナリト云フ、或ハ曰ク、基山ハ、東西ニ長クシテ、帝陵ノ状ニアラスト、何レカ是ナルヲ知ラス、此ノ郡ノ繁盛市場ハ、

ハ、岩室、大野、西野、関、等ナリ、関、西野、大野ハ、和泉ヨリ紀伊ノ高野山ニ達スル官道ニシテ、來往ノ行旅多シ、○丹北郡ハ、舊丹比ニ作ル、後世誤リテ丹北トス、既ニ丹北アリ、因リテ對スルニ丹南ヲ以テセルナラン、此ノ郡ハ、國ノ西ニアリテ、南ハ丹南ニ隣リ、北ハ澁川郡ニ接ス、全郡四十五村、此ノ郡ノ南、上田村ニ柴籬宮ノ舊址アリ、反正天皇此ニ都スルコト六年、日本紀ニ、初天皇淡路宮ニ生ル、生レナカラニシテ、齒一骨ノ如シ、容姿美麗ナリ、井アリ、瑞井ト云フ、此ノ水ヲ汲ミテ、太子ヲ洗フ、時ニ多遲花落チテ井中ニアリ、因リテ太子ノ名トス、多遲花ハ、今ノ虎

杖花ナリ、故ニ稱シテ多遲比瑞齒別天皇ト云フ、此ノ名、マリ始、其ノ東、島泉ニ雄畧天皇ノ陵アリ、丹比高鷲原陵ト云フ、丸山ト字ス、天皇諱ハ、大泊瀨允恭天皇ノ第五子ナリ、在位二十三年ニシテ崩ス、又阿保村ニ、阿保親王ノ故蹟アリ、親王ハ、平城天皇ノ皇子ニシテ、在原業平ノ父ナリ、嘗此ノ地ニ在リシト云フ、○八上郡ハ、丹南、丹北ニ抱カレ、西和泉ニ界スル小郡ナリ、全郡一十一村、金田村ニ、畫工巨勢金岡ノ宅址アリ、金岡ハ、舊難波田氏中納言野足ノ子ニシテ、官大納言ニ至ル、宇多天皇ノ時、此ニ住セシト云フ、一説ニ、金田ハ、金岡ノ誤ナリト云ヘリ、小寺村

ニ丹比行宮ノ址アリ、天平神護元年稱徳帝此ニ幸セラレ、弓削行宮ニ至リ給フト云フ、市場アリ、福町ト云フ、○澁川郡ハ、三十三村、丹比郡ノ北ニシテ、太子堂村ニ、勝軍寺アリ、一ニ願成就寺ト云ヒ、又掠樹寺ト云ヒ、野中寺ト云フ、古昔用明天皇ノ時、弓削守屋佛法ノ國家ニ害アルヲ以テ、屢天皇ヲ諫ム、聽レスシテ、此ノ郡阿都ノ宅ニ退居セリ、聖徳太子攻メテコレヲ殺ス、其ノ後果シテ守屋ノ言ノ如ク、逆賊馬子佛ヲ重シテ、天皇ヲ弑スルニ至ル、實ニ浩嘆ニ堪ヘサルナリ、其ノ傍ニ、守屋ノ墳アリ、又久寶寺村ニ、顯證寺アリ、其ノ傍ノ城址ハ、古昔畠山麾下ノ

士、澁川某ノ撰リシ所ト云フ、○若江郡ハ、澁川郡ノ北、茨田郡ノ南ニアリ、全郡六十四村、此ノ郡ノ市場ハ、八尾ヲ盛ナリトス、市場五ノ口三千四百七十一ノ人アリ、此ノ地、奈良ノ官道ニ當リテ、行旅來往、商賈輻輳ス、其ノ南、弓削村ニ、弓削ノ行宮ノ址アリ、古昔孝謙天皇僧道鏡ヲ罷ス、道鏡罷ヲ恃ニ、權ヲ專ニシ、行宮ヲ此ノ地ニ造ル、續日本紀ニ、天平神護元年冬十月、天皇弓削ノ行宮ニ幸シ、詔シテ道鏡ニ、太政大臣禪師ノ號ヲ授ケ、文武百官ヲシテ、拜賀セシムト云ヘリ、八尾ノ西、西郡村ニ、木村重成、山口重信ノ墓アリ、重成ハ、豊臣秀頼ノ近臣ナリ、壯年ニシテ智

勇兼備ノ名アリ、大坂夏ノ役ニ、大野治長、真田幸村等ト
共ニ城ヲ出テ、血戦シ、山口重信ヲ斬ル、重信ハ、修理亮
重政ノ子ニシテ、徳川氏ニ事フ、慶長十八年父重政故ア
リテ、貶セテ、武藏ノ河越ニ潜居ス、元和元年重信大坂
ニ事アルヲ聞キ、晝夜西ニ馳セテ、井伊直孝ノ隊ニ入り、
戦死ス、時二年二十六、此ニ於テ東軍重成ヲ圍ミ相戦フ、
直孝ノ老臣菴原某、遂ニ重成ヲ刺シ、安藤某其ノ首ヲ取
ル、時二年二十五、後人二子ノ忠勇ヲ賞シテ、墳墓ヲ其ノ
地ニ建ツ、西郡ノ西、稲田村ニ、桃林アリ、春風ノ候遊人來
賞スル者多シ○大縣郡ハ、一十一村、國ノ東安宿、高安二

郡ノ際ニアリテ、郡ノ中央平野村ニ、荒陵アリ、里人コレ
ヲ清寧天皇ノ陵トスルハ、謬ナリ、其ノ東安室村ノ邊、勝
地多シ、瀑布アリ、鳴瀧ト云フ、溪間白雪ヲ飛ハシ、夏時避
暑ノ地タリ○高安郡ハ、一十四村、大縣郡ノ北ニアリテ、
東ハ大和ノ平群郡ニ接ス、從來此ノ國、木綿ヲ産スル多
ク、殊ニ此ノ郡ノ木綿ハ、高安木綿ト唱ヘ、輸出スルコト
夥シ、郡ノ中央郡川ノ邊、古墳多シ、土人コレヲ掘リ、金環、
鐵針、陶器等ヲ得ルコトアリ、其ノ東ニ、城址アリ、天智天
皇ノ時、築キタル古城ナリシカ、後コレヲ毀ツ、永祿年間
松永久秀、此ニ陣營ヲ設ケシト云フ、又山畑村ニ、業平ノ

古墳アリ、事ハ伊勢物語ニ詳ナレバ略ス、又恩知村ニ、恩知左近滿一ノ墓アリ、建武年間滿一楠氏ニ屬シ、東軍ヲ拒キテ功アリ、此ノ地ノ城址ハ、即滿一ノ據リシ所ナリト云フ、○河内郡ハ、二十八村若江、高安、讚良三郡ノ間ニアリテ、郡ノ南、六萬寺村ノ往生院ハ、南北朝ノ時、楠正行ノ兵營タリ、其ノ傍、四條村ハ、正行戰死ノ地ナリ、四條ハ、即此ノ地ナリ、或ハ云フ、四南朝正平四年正月高師直條畷ハ、讚良北條村ナリト、四條畷ニ到ル、正行自三千騎師泰等、八萬騎ニ將トシテ、四條畷ニ到ル、正行自三千騎ニ將トシテ、賊ノ中軍ヲ突キ、師直ト死ヲ決セントシ、或ハ進ニ或ハ退キ、晨ヨリ晡ニ至ルマテ、遂ニ師直ニ近ツ

クコト能ハス、正行身箭ヲ被ル、蝟毛ノ如ク、力盡キテ其ノ弟正時ト相刺シテ斃ル、時ニ年二十二、此ノ郡ノ中央繁華ノ地アリ、峠ト云フ、峠ノ北ニ、髮切山アリ、初夏緑陰ノ候、風流ノ客來リテ杜宇ヲ聽キ、詩ヲ賦シ歌ヲ咏ス、其ノ北、額田村ニ、長尾瀑アリ、二層トナリテ下タル、一層ハ其ノ高三丈五尺、一層ハ二丈許アリ、又繁華ノ地ハ、出雲井村ナリ、此ノ地、牧岡神社アリ、官幣大社ノ一ニシテ、祭神四座、曰ク比賣神、曰ク天津兒屋根命、曰ク齋主命、曰ク武甕槌命、例祭ハ、毎年二月一日ナリ、此ノ日、遠近ノ力士、群集シテ、力ヲ鬪ハス、老幼來リ觀ル者、極メテ夥シ、○讚

良郡ハ河内、交野二郡ノ間ニアリテ、東ハ大和ニ接ス、全郡三十四村、郡ノ中央ニ、飯盛山ノ城址アリ、建武年間僧正憲法、コレニ據レルヲ楠正成ニ陥レラル、永録年間三好長慶、又此ニ據ル、天正年間織田氏ノ有トナル、其ノ傍苜屋村ニ楠正行ノ墓アリ、又塚脇村ニ和田賢秀ノ墓アリ、賢秀ハ正朝ノ弟ニシテ、正行ノ從弟ナリ、四條畷ノ戦ニ、賢秀獨敵卒ニ混シ、師直ヲ伺ヒ刺サントス、時ニ楠氏ノ卒、湯淺ナルモノ、降りテ賊軍ニアリ、賢秀ヲ見テ後ヨリコレヲ斬ル、賢秀眼ヲ瞑ラシ、湯淺ヲ見ル、湯淺懼レ後病ヲ發シテ死ス、○茨田郡ハ、西ハ淀川ニ臨ミ、東ハ、讚良

郡ニ界ス、全郡六十九村此ノ郡ノ市場ハ、守口、佐太、牧方ナリ、皆西京ノ官道ニ當リテ、殊ニ牧方ハ、旅亭、茶店最多ク、繁華ノ地タリ、市街五人、口一千五百二十九人アリ、地誌提要ニ、牧方ハ、傳ヘ云フ、此ノ地ハ、古昔牧馬ノ場ナリシト、佐太ノ近村、番舞ヲ以テ村名トシ、一番ヨリ十番ニ至ル、或ハ曰ク、豊臣氏大軍ノ隊伍ヲ列セシ地ナリト、又守口ヨリ糟菜ヲ産ス、其ノ味極メテ美ナリ、世人コレヲ守口漬ト云フ、○交野郡ハ、國ノ北ニアリテ、讚良郡ヲ南ニス、全郡三十九村、此ノ郡、山水秀美ノ地多ク、巖船ノ如キ、元寺瀧ノ如キ、獅子窟寺ノ如キ、其ノ最タリ、元寺瀧

其ノ高五丈アリテ、天川ニ注ク、獅子窟寺ニ、後龜山天皇ノ陵アリ、百重原陵ト云フ、天皇諱ハ、熙成長慶天皇ノ弟ナリ、在位十八年ニシテ、北朝ト和シ、京都ニ入ル、應永三十一年崩ス、一説ニ天皇山城ニ崩シ、嵯峨ノ福田寺ニ葬ル、コレヲ北方陵ト云フ、蓋此ノ地ノ陵ハ、南朝ノ舊臣相議シテ、改葬セシモノナラント、此ノ郡ハ、古時天子遊獵ノ地ニシテ、交野ト云フ、即今ノ禁野、中宮、片鉾ノ邊、是レナリ、

○山川

國ノ中央ヲ貫キ、洋々トシテ、西ニ向ヒ流ル、者ヲ大和

川トス、其ノ流、舊志紀郡ヨリ折レテ、西北ニ赴キ、淀川ニ入リシカ、年々河畔ノ村、水災ニ罹ルヲ以テ、元録年間、新溝ヲ鑿チ、堤防ヲ築キ、柏原村ヨリ直ニ西ヲ指シテ、攝津和泉ノ界ヨリ海ニ入ラシム、是レヲ新大和川ト云フ、舊道ハ、纔ニ細流ヲ餘シテ、長瀬川ト云フ、小艇ニ掉シテ、淀川ニ達スルコトヲ得ヘシ、淀川ハ、國ノ北境ヲ繞リテ、西南ニ流ル、攝津誌ニ淀、大和、二川ノ間ヲ流ル、モノヲ寢屋川トス、其ノ源ハ、交野郡ヨリ發シ、蛇行シテ、讚良郡ノ三介村ノ邊ニ至リ、思知川ヲ併セテ、西ニ赴キ、玉串、長瀬ノ諸川ト會シ、攝津ニ入リテ、淀川ニ注ク、其ノ他、天龍川、

東條川、西條川、天川、龍間川、德菴川、高瀬川、蹉跎川、傍示川、舟橋川、片足羽川、飛鳥川等アリ、其ノ中稍大ナル者、東條川トス、其ノ源ニアリ、一ハ水越嶺ヨリ發シ、水分村ニ至ル、是レヲ水分川ト云ヒ、一ハ金剛山ヨリ發シ、千早ニ至ル、是レヲ千早川ト云フ、二水相會シ、西北ニ向ヒテ流ル、コレニアタラ西條川トス、其ノ源ハ大和大澤嶺ノ西、及錦部郡ノ九重嶺等ヨリ發シ、東北ニ向ヒテ流レ、諸川ヲ併セテ東條川ト合ス、是レヲ石川ト云フ、又北流シテ大和川ニ入ル者ヲ天野川トス、其ノ源ハ天野山ヨリ發シ、狹山ノ池ニ入り、再出テ、北ニ流レ、大和川ニ入ル、其

ノ他ハ皆細流ナリ、南方ニ屹立スル山峰ヲ天野山トシ、藏王峰トシ、紀伊嶺トシ、九重嶺トシ、大澤嶺トス、天野山ハ、山脈紀伊和泉二國ニ跨リ、高峻ト稱スルニ足ラスト、雖積翠重々トシテ、頗勝景ノ境タリ、藏王峰ハ、嶮峻ニシテ攀躋甚難シ、紀見九重、大澤ハ、皆紀伊ニ赴ク間道ナリ、又東方ニ秀出スル山峰ヲ金剛山、千早嶺、水越嶺、平石嶺、篠ヶ峰、竹内嶺、二上嶺、龜瀨嶺、高安山、十三嶺、掠ヶ根嶺、生駒山、鷲尾山、岩舟嶺、草香山、飯盛山、國見山、荒坂嶺等トス、其ノ他無名ノ山岳、犬牙ノ如クニシテ、金剛山ハ、其ノ頂突兀トシテ、雲間ニ聳上、眺望スレハ、頗美觀タリ、古昔正

成此ノ峰ヲ南朝ノ皇居トシ、以テ社稷ヲ興復セシコト
ヲ欲セシ地ナリ、千早嶺ハ、金剛山ニ連リテ、亦巍々タル
山峰ナリ、此ノ山脈北ニ馳セテ竹内嶺ニ至ル、其ノ間ニ
葛城山アリ、篠ヶ峰ハ、水越平石ノ間ニ孤立シ、山高クシ
テ且險ナリ、又二上嶽ハ、大和ニ跨リ二峰並立セリ、男嶽
ト云ヒ、女嶽ト云フ、龜瀨嶺ハ、大和川ノ涯ニ沿ヒテ、巍々
然タリ、高安山ハ、高安郡ノ東ニアリテ、幽静ノ境ナリ、又
十三嶺ハ、大和ニ至ル官道ニシテ、神立ヨリ大和ノ平群
郡ニ入ル、路傍ニ古墳十三アリ、故ニ名トス、掠ヶ根嶺ハ、
一二暗峠ト云フ、大和ニ赴ク官道ニシテ、嶺上ニ茶店ア

リ此ノ山脈生駒山ニ連ル、生駒山ハ、大和ニ跨ル、大和誌
ス、鷲尾山ハ、山峰峭絶ニシテ、櫻樹アリ、春候遊人多シ、草
香山ハ、神武天皇東征ノ時、越エタル所ナリ、飯盛山ハ、樹
木鬱蒼トシテ、山勢恰飯ヲ盛リタルカ如シ、故ニ名トス、
岩舟嶺ハ、大和ノ路ニシテ、巖石叢々タリ、國見山及荒坂
嶺ハ、皆峻嶮ニシテ、眺望絶佳ナリ、○狹山池ハ、錦部郡ニ
アリテ、天野小山田ノ溪流、此ニ入ル、周回一里余、東西七
町五十六間、南北五町二十五間、此ノ國第一ノ大池ニシ
テ、池邊ノ荷花、藻中ノ魚鱗、頗騷人ノ情ヲ慰ム、古昔崇神
天皇詔シテ、耕耘ノ為メニ鑿タシメタル所ナリ、

○産物

産物ハ、酒、綿、木綿ノ類、茶、烟草、干瓢、蓮根、水仙花、菖蒲花、楊梅等ニシテ、又白灰、金剛鑽、木槌子、數珠ヲ寺ヨリ出シ、ヲ出タス牧方ニ、貨食船アリ、食ハンカ船ト云フ、酒肴及諸ノ飲食ヲ載セ、河瀬ノ船客ヲ呼ヒ、強ヒテコレヲ食ハシメントス、其ノ聲、恰人ヲ叱スルカ如シ、

和泉之圖



三十四度

三十四度

和泉誌

○位置

和泉國ハ畿内中ノ一小國ニシテ、東南ハ紀伊、河内ニ接シ、北ハ攝津ニ界シ、西ハ海ニ濱ス、此ノ國舊河内國ニ屬セシカ、元正天皇靈龜二年、其ノ大鳥日根泉ノ三郡ヲ割キテ、始メテ和泉國ヲ置ク、類聚國史ニ見エタリ一説ニ、神功皇后新羅ヲ征セシ時、此ノ地中ヨリ清水涌出スルコト、大餘其ノ流レ長クシテ、味甘露ノ如シ、因リテ和泉ト名ツク、其ノ地、今ノ國府ノ清水、是レナリト、又一書ニ、和泉ヲ出泉ニ作ル、蓋出ツル泉ノ義ナラント、其ノ後和泉郡ヲ分

チテ南郡ヲ置キ、今ハ四郡トナル、曰ク大鳥、曰ク和泉、曰ク日根、曰ク泉南、是レナリ、氣候ハ、極暑九十三度ニ至リ、極寒三十八九度ニ至ル、源賴朝ノ時、佐原義連ヲシテ、此ノ國ノ守護タラシメ、建武年間、楠正成守護トナリ、和田正遠ヲシテ、岸和田ニ居ラシム、足利氏ノ時、山名氏清守護トナル、氏清誅セラレテ、大内義弘コレニ代リ、義弘亦誅セラレテ、細川滿元コレニ代ル、滿元ノ裔、晴元全國ヲ掠奪シ、家臣三好長基ヲ守護トス、長基ノ子、長慶、晴元ニ叛キ、遂ニ亦全國ヲ掠奪ス、永録年間、織田信長、三好氏ヲ仆シ、松井友閑ヲシテ、國事ヲ掌ラシム、豊臣氏ノ時、小西

行長ヲシテ、國事ヲ掌ラシメ、地ヲ其ノ弟秀長ニ賜フ、徳川氏ノ時、岡部氏ヲ岸和田ニ封シ、渡邊氏ヲ伯太ニ封シ、又堺奉行ヲ置キテ管轄セシム、王政維新ノ後、遠藤氏ヲ吉見ニ封セシカ、尋テ藩ヲ廢シ、堺縣ヲ置ク、

○土地

大鳥郡ハ、國ノ北ニアリテ、最北ニ、堺町アリ、攝津、河内、和泉三國ノ堺ナルヲ以テ名トス、此ニ縣廳アリテ、和泉河内、大和ノ三國ヲ管ス、明德年間、山名氏清、此地ニ城堡ヲ築キ、泉府ト名ツク、是レヨリ、大内、細川、織田、豊臣ノ諸氏更コレヲ有シ、徳川氏ニ到リテ、始メテ奉行ヲ置キ、守

ラシム、市街一百九十四街、人口三万八千八百三十八人、
街區繁華ニシテ、巨商軒ヲ並ヘ、港津便利ニシテ、賈舶常
ニ往來ス、妓樓アリ、劇場アリ、殊ニ戎島ハ、風景美ニシテ、
且繁華ノ地タリ、街中寺院多シ、妙國寺ノ蘇鐵、金光寺ノ
藤花、其ノ名最著ハル、又南宗寺ハ、幽靜ニシテ、眺望佳ナ
リ、此ノ地古ヨリ有名ノ人ヲ生スルコト多シ、小西攝津
守行長ハ、巨商如清ノ長子ニシテ、文錄年中豊臣秀吉ノ
命ヲ奉シ、大軍ヲ率ヰテ、朝鮮ヲ伐チ、王都ニ迫リ、其ノ威
名四隣ニ轟ク、肥後國ニ封セラレ、二十萬石ヲ領セシカ、
慶長五年石田三成ニ黨シ、誅セラル、行長嘗三好長慶松

永久秀等ト共ニ、西洋教ヲ尊奉セリト、事耶蘇天誅記ニ
詳ナリ、又鼠樓粟新左衛門ハ、刀工ニシテ、諧語方言、詩歌
ヲ善クシ、秀吉ニ愛セラル、其ノ他、肖柏ノ如キ、紹鷗ノ如
キ、茶及和歌ヲ以テ稱セラル、堺ノ南、淡村ハ、一繁華地ニシ
テ、市坊一十九、人口一千五百六十六人アリ、其ノ東、舩松
村ニ、仁徳天皇ノ陵アリ、大仙陵ト號ス、天皇諱ハ、大鷦鷯、
應仁天皇ノ第四子ナリ、母ヲ仲姫命ト云フ、古事記ニ、壽八
十三、日本紀ニ、天皇六十七年、冬十月、河内國石津原ニ行
幸アリテ、陵地ヲ定メ、始メテ陵ヲ築クト云ヘリ、舊事記
ニハ、百舌鳥野陵ニ葬ルト云フ、百舌鳥野、石津原共ニ今

ノ舳松村ナリ、其ノ北ニ、反正天皇ノ陵アリ、楯井陵ト云
フ、天皇諱ハ、瑞齒別、仁德天皇ノ第三子ナリ、古事記ニ、壽
六十、日本紀ニ、耳原陵ニ葬ルト云ヘリ、延喜諸陵式ニ、百
舌鳥耳原北陵ハ、丹比紫籬宮ニ御宇^{ミコトノサカ}反正天皇ト云ヘリ、
其ノ南ニ、履仲天皇ノ陵アリ、天皇諱ハ、去來穗別、亦仁德
天皇ノ子ナリ、古事記ニ、壽六十四、日本紀ニ、百舌鳥原陵
ニ葬ルト云ヘル、即是レナリ、其ノ傍ナル、家原村ハ、僧正
行基ノ生レタル所ニシテ、家原寺アリ、又城址アリ、古昔
雀部次兵衛ノ築ク所ニシテ、永錄十二年三好氏ニ滅サ
ル、郡ノ東ニ、高藏村、辻村、北村、岩室村アリ、此ノ邊、古時陶

器莊ト云ヒ、陶器ヲ製出スル多シ、世ニ行基焼ト云フ者、
是レナリ、郡ノ西、沿海ノ地ハ、風景秀美ニシテ、濱寺ノ舊
跡、古松鬱々トシテ高師ノ濱ニ連リ、北ニハ、摩耶、武庫ノ
諸山ヲ望ミ、西ニハ、淡路島波間ニ峙チ、南ニハ、紀ノ海、阿
波ノ鳴門ヲ觀ル、真ニ一幅ノ畫ノ如シ、此ノ海濱ヲ總ヘ
テ茅渚浦ト云フ、茅渚ハ、古昔此ノ國ノ總稱ナリ、日本紀
ニ、神武天皇東征セシ日、膽駒山ヲ踰テ、中洲ニ入ラント
ス、長髓彦コレヲ禦ク、官軍利アラヌシテ、更ニ舟行シ、南
ノ方、水門ニ到ル、皇兄五瀨命、矢ニ中リテ、コノ水ニ就キ、
其ノ傷ノ血ヲ洗フ、故ニ血沼ノ名アリト、全郡一百零三

村アリ、○和泉郡ハ大島郡ノ南ニアリテ、東ハ紀伊、河内ノ境ニ接ス、此ノ郡ノ市場ハ伯太、横山等ナリ、伯太ハ舊渡邊氏ノ封地ナリ、渡邊氏ノ先守綱ハ初メ半藏ト稱シ、徳川氏ニ事ヘ、赤坂ノ戦ニ鎗ヲ揮ヒ、敵ヲ什スコト無数ナリ、一軍皆驚キ呼ヒテ鎗半藏ト云フ、永録年間一向宗ノ僧徒ニ黨シ、罪ヲ徳川氏ニ得ルト雖、後再事ヘテ各地ノ戦ニ功アリ、其ノ裔吉綱ノ時、此ノ地ニ封セラレ、一萬三千五百二十石余ヲ領ス、其ノ傍ニ府中村アリ、古昔國司ノ館アリテ、橘道貞和泉源順、紀貫之等皆和泉守ニ任セラレ、此ノ地ニ居リシト云フ、清泉アリ、即國府ノ清

水ナリ、其ノ西中村ニ信太森アリ、森中白狐祠ヲ建ツ、安部晴明ノ母ヲ狐トスルノ俗説ニ從ヘルナリ、此ノ地古ヨリ特ニ著ル、者和歌ニ由リテナリ、下條大津ハ此ノ郡ノ名邑ニシテ、市坊一十一、人口二千アリ、土佐日記ニ、とつのうらなるきの松原ト咏メル、即此ノ地ナリ、此ノ郡モ、亦寺院多シ、施福寺ハ、楨尾山腹ニアリテ、觀音ヲ安ス、遠近賽者常ニ夥シ、山中ニ四十八瀑、三十六洞アリ、頗勝景ノ境タリ、大威徳寺ハ、牛瀧山ニアリ、此ノ山、楓樹多ク、秋候遊人踵ヲ接シテ到ル、松尾寺ハ、松尾山上ニアリテ、青松森々タリ、古時堂宇宏壯ナリシカ、天正年間

根來黨ノ兵燹ニ罹リ、慶長年間豊臣秀頼再コレヲ建ツ、
國分寺ハ、國分村ニアリ、光明皇后ノ生レ給ヒシ地ニシテ
舊安樂寺ト云フ、承和年間勅シテ國分寺ト改メ給フ、其
ノ西、萬町村ニ、僧契沖ノ住ミタル草菴アリ、契沖ノ事、攝
津誌ニ詳ニ
ス池田寺ハ、池田郷ニアリ、南北朝ノ時和田正利山名氏
清ト戦ヒ、此ノ地ヲ放火シ、巨刹灰燼トナル、明徳年間池
田氏再コレヲ建ツ、全郡八十二村アリ、○泉南郡ハ、和泉
郡ノ南ニアリテ、近來南郡ト稱ス、舊和泉郡ニ屬セシカ、
後今チテ兩郡トナル、西濱ニ、岸和田城アリ、古昔楠正成
ノ支族和田新三郎高家始メテ築ク所ナリ、永録年間ハ、

三好氏コレニ居ル、天正年間ニ及ヒテ、中村氏此ヲ守リ、
徳川氏ノ時岡部氏ノ封トナル、岡部氏ノ先内膳正長盛
ハ、左大臣武智麿ノ四男、参議乙磨ノ末葉、遠江守為憲ノ
孫、岡部權守清綱ノ後胤、次郎左衛門尉正綱ノ男ナリ、世
世駿河ニ住シ、今川氏ノ被官タリ、正綱武田氏ト戦フコ
ト屢ニシテ、遂ニ服従ス、武田氏亡フルニ及ヒテ、徳川氏
ニ事フ、正綱死シテ長盛継ク、長盛各地ノ戦ニ功アリ、長
鉄及上田城ノ戦ノ如キハ、其ノ功最著シ、因リテ五萬石
ニ封セラル、其ノ子宜勝ノ時封一萬石ヲ増シ、此ノ地ヲ
領ス、後封七千石ヲ割キ、諸子ニ與ヘ、五萬三千石トナル、

城下市街繁華ニシテ、貿易頗盛ナリ、人口八千八百五十
二人アリ、街中ニ天性寺アリ、地藏尊ヲ安ス、世俗コレヲ
銷地藏ト云フ、其ノ由來妄誕笑フベシ、貝塚ハ、岸和田ノ
南ニアリテ、亦此ノ郡ノ名邑ナリ、人口四千二百七十人
アリ、此ノ郡寺院多シ、其ノ著名ナル者ハ久米田寺願泉
寺神於寺、水間寺等ニシテ、久米田寺ハ、久米田寺村ニア
リテ、僧行基ノ開基ナリ、永祿年間三好實休二萬騎ニ將
トシ、根來黨畠山高政ト此ノ地ニ戰ヒ、流矢ニ中リテ死
ス、願泉寺ハ、貝塚ニアリ、是レ亦行基ノ開基ニシテ、天正
年間僧ト半此ニ住シ、始テ願泉寺ト號ス、神於寺ハ、此ノ

深 日 浦



國ノ中心ニアリテ、眺望頗佳
ナリ、水間寺ハ水間村、水流ノ
間ニアリ、故ニ名ツク、全郡七
十三村アリ、○日根郡ハ、泉南
郡ノ南ニアリテ、東南ハ、紀伊
ニ接ス、此ノ郡ノ市場ハ、貝掛ノ
市場、山口、信達等ナリ、貝掛ノ
南ニ、箱作村アリ、石ヲ産ス、コ
レヲ和泉石ト云フ、其ノ色青
白、其ノ質細密ニシテ、諸器ヲ

製スヘシ、其ノ西、淡輪村ハ、古昔淡輪氏世々此ニ居リシヲ以テ名トナル、天正年間淡輪大和守徹齋ノ女、関白秀次ノ妾タリ、故ヲ以テ秀次ノ比フル、淡輪氏モ亦比フ、地ニ小弓宿稱及上道大海ノ墓アリ、雄畧天皇ノ九年、紀、小弓宿稱、蕪我韓子宿稱等ニ詔シテ、新羅ヲ征セシム、小弓宿稱、軍ニアリ病ミテ薨ス、其ノ妻米女、大海深クコレヲ悼ム、天皇コレヲ憐ミ、大伴室屋、大連ニ詔シテ、此ニ葬ラシム、事日本紀ニ詳ナリ、又紀、船守ノ墓アリ、船守ハ、桓武天皇ノ寵臣ニシテ、天平寶字年中、惠美押勝ヲ討チテ、功アリ、後大納言ニ任セラル、延暦十一年薨ス、黒崎ハ、此ノ

地ノ西海面ニ斗出セル沙洲ヲ云フ、土佐日記ニ、くろさきの松原とへて、ゆくところの名ハ、くろく松の色ハ、あをくと云ヘル、即是レナリ、其ノ南、深日村ニ、城址アリ、源平ノ頃、安摩六郎、岡部兵衛等ノ共ニ築ク所ナリシカ、平氏ノ將、能登守教經ニ陷サル、平家又行宮ノ址アリ、其ノ地、今詳ナラスト、雖續日本紀ニ、天平神護元年十月甲申、和泉國日根郡、深日ノ行宮ニ到リ給フ云々トアリ、此ノ海岸ヲ深日浦ト云フ、風景絶佳ニシテ、海上漁舟多シ、信達ノ南、牧野ニ御所村アリ、古昔白河院天皇、此ニ幸シ給フヲ以テ名ツクト云フ、其ノ傍ニ、躑躅岡アリ、満山躑躅

ニシテ、花時頗壯觀ナリ、其ノ西ニ、男里アリ、元明天皇ノ
時、勅シテ國郡郷村ハ、佳名ヲ撰ヒ、限ルニ二字ヲ以テセ
ヨト云フ、即紀國ヲ紀伊トシ、津國ヲ攝津トスルノ類ナ
リ、獨男里ノミ、一村一字ナルハ、恠ムベシ、日本紀及舊事
記ニ載セタル、雄水門ノ舊址ハ、即此ノ地ナリト云フ、古
事記ニハ、男水門ハ、紀國ニアリトス、何レカ是ナルヲ知
ラス、市場ノ傍、長瀧村ニ、蟻通明神ノ社アリ、祭神詳ナラ
サレトモ、紀貫之カ、かきくもりあやめもあらぬおん空
よありとありとい思ふへーやハト、咏メルヲ以テ、其ノ
名著ル、佐野尾崎ハ、此ノ郡ノ名邑ナリ、皆海濱ニアリテ、

運送便利、商賈輻輳ノ地タリ、佐野ハ、市街一十九、人口五
千三百八十八人、尾崎ハ、一十四街、人口二千一百七十八
人アリ、此ノ海濱ヲ近木浦ト云ヒ、美景ノ地ナリ、殊ニ佐
野ノ松原ハ、古人歌ニ咏スル者多シ、又尾崎ニハ、古時港
津アリシト云フ、郡ノ東、日根野郷、中筋村ニ、日根野ノ城
址アリ、古昔日根氏此ニ主タリ、又土丸村ニ、土丸ノ城址
アリ、興國年間、楠氏ノ一族某ノ築キシ所ナリト云フ、明
徳年間、山名氏清ノ兄、修理太夫義理、此ノ城ニ據ル、大内
義弘攻メテコレヲ降ス、上郷中村ニ、衣通姫ノ舊蹟アリ、
日本紀允恭天皇ノ八年、宮室ヲ河内ノ茅渚ニ造リ、衣通

矩ヲシテ居ラシメ給フト云ヘル是レナリ、今其ノ地、田圃トナル、此ノ郡モ亦神社佛閣多シ、全部七十五村、○全國大抵平坦ナリト雖、東南ノ境ハ皆山ナリ、地氣温和ニシテ、五穀豊饒ス、人民ノ心性ハ、倭奸ナリ、人國記ニ當國ノ人ハ、用キヘキニ似テ、用キヘカラス、譬ハ鋼ナキ利刀ノ如シト云ヘリ、古昔堺港外國貿易ノ盛時に當リ、西洋教ヲ奉スルモノ多カリシト云フ、○大鳥神社ハ、官幣大社ノ一ニシテ、大鳥郡ニアリ、祭神ヲ日本武尊トス、例祭ハ、毎年八月十二日ナリ、林羅山ノ本朝地理誌畧ニ、和泉國大鳥社ハ、昔神化シテ白鳳トナリ、來リテ此ニ集ル、故

ニ社ヲ建テ、コレヲ祭ル、辨シテ大鳥ト云フ、大鳥社傳ニ、日本武尊東夷ヲ征シ、伊勢ノ能褒野ニ薨ス、因リテ其ノ地ニ葬ル尊ハ尋ノ白鳥ニ化シ、飛ヒテ倭ヨリ河内國ニ到ル、即此ノ所ニ宮ヲ造ル、是レ今ノ大鳥社ナリト、上古ノ事多クハ神恠此クノ如シ、三代實錄ニ、貞觀元年正月和泉國大鳥神ニ、從四位ヲ授ク、同九月詔シテ大鳥ノ神ニ幣ヲ奉リ、風雨ノ為ニ禱ル、同三年七月大鳥ノ神ニ、從三位ヲ授グト、一宮記ニモ、日本武尊ヲ祭ルトス、當國ノ一宮ナリ、

○山川

川流ハ大鳥郡ノ石津川其ノ源ニアリ、一ハ陶器山ヨリ
發シ、尾井川ト云ヒ、一ハ鉢峰ヨリ發シ、上神谷川ト云フ、
二川草部村ニ來リ、相會シテ草部川ト云フ、流レテ下石
津ニ至リ、海ニ入ル、水清クシテ、布ヲ曝スベシ、其ノ長七
里十一町四十五間ニシテ、濶三十間アリ、又和泉郡ノ大
津川ハ、其ノ源ヲ槇尾山ヨリ發シ、西ニ流レ、牛瀧川ヲ引
キテ、海ニ入ル、其ノ長五里八町五十五間、濶一町二十二
間アリ、又泉南郡ノ津田川ハ、塔原村ノ東ニ發シ、西流シ
テ海ニ入ル、長三里十一町一間、濶十七間、又日根郡ノ近
木川ハ、其ノ源ニアリ、一ハ泉南郡蕎原村ノ東ニ發シ、一

ハ同郡大井村ノ東ニ發シ、二水水間村ニ來リ、相合シ水
間川ト稱シ、日根郡ニ入リ、海ニ注ク、長四里三十町十七
間、濶十九間二尺、大井関川ハ、一ニ岡田川ト云フ、源ヲ日
根郡ノ犬鳴山ニ發シ、分レテ二條トナリ、大木村ニ來リ
相會シ、岡田村ニ入リ、海ニ注ク、其ノ長四里八町十間、濶
五十間、男里川ハ、一ニ菟砥川ト云フ、日根郡ノ葛畑村ヨ
リ出テ、山中、井堰ノ二水ヲ合セ、男里村ニ至リ、海ニ入ル、
長三里三十二町十六間、濶四尺、濶二町總ヘテ此ノ國ノ川
流ハ、平時川道砂礫ノミニシテ、霖雨ノ候ニ及ハ、水流
奔馳シ、皆攝津ノ海ニ入ル、山峰ハ、東方國境ニ、牛瀧山、七

越嶺葛城山、旗尾山アリ、其ノ中最高キハ、旗尾山ニシテ、和泉郡坪井村ヨリ、凡一里十四町アリ又七越嶺ナリ、同郡父鬼村ヨリ一里十五町三十二間、次キヲ葛城山トシ、牛瀧山トス、山脈皆紀伊ニ跨ル、又南境ニハ、飯盛山アリ、其ノ高、日根郡ノ深日村ヨリ、凡三十五町、犬鳴山アリ、同郡ノ大木村ヨリ、凡二十五町アリ、其ノ他、孝子畑、井関嶺、琵琶岸等アリ、山脈亦紀伊ニ連リ、頗峻險ナリ、○堺港ハ、今水浅クシテ、巨船ヲ繫クコト能ハスト雖、享祿天文ノ頃ハ、外國貿易ノ一場ニシテ、海外ノ賈船常ニ輻輳シ、我商人モ亦海外ニ到ルモノ多シ、納屋助左門ノ如キハ、天

正年間琉球ヨリ呂宋ニ航シ、文録年間歸朝シテ、名器ヲ秀吉ニ上ルト云フ、其ノ後徳川氏ニ及ヒテ、港津ヲ鎖シ、巨船ヲ毀テ、外國ノ貿易ヲ絶ツ、是ニ於テ、其ノ地、忽昔日ノ繁華ニ似ス、然レトモ内國ノ賈船ハ、常ニ輻輳シテ、帆檣林ノ如シ、其ノ碇泊場ハ、東西六町余、南北四十間、其ノ深ハ一匁半アリ、谷川港ハ、慶長年間桑山法印氏勝、初メテ開港ス、方今港内水浅ク沙速クシテ、巨船ヲ容ル、コト能ハス、其ノ深、纒ニ一匁二尺ナリ、然レトモ此ノ港モ亦頗繁華ナリ、岸、和田港ハ、舊水深カリシカ、今ハ浅ク纒ニ五尺ニ過キス、且港内東西二丁二間、南北四十三間、亦

巨船ヲ繫ク能ハス以上ノ三港、皆燈臺アリテ、舟行ニ便
ニス。○久米田池ハ、泉南郡久米田村ニアリ、周匝二十七
町四間、神龜天平年間僧行基ノ鑿リシ所ニシテ、今ニ至
ルマテ、近村灌溉ノ利ヲ得ルコト尠カラス、珍努池ハ、日
根郡鶴原村、佐野川村ノ間ニアリ、古事記ニ、垂仁天皇ノ
御子印色入日子命、血沼池ヲ作ルト云ヘル是レナリ、今
ナスルヤ詳。○槇尾山ニ瀑布多シ、其ノ最大ナルハ、満願寺
瀑ニシテ、高凡二十丈、幅五間アリ、コレニ次クハ、唐瀑
ナリ、高凡十八丈、幅五間アリ、其ノ他、雪ヲ噴キ珠ヲ跳ラ
シ、奇景名狀スヘカラサルモノアリト雖、皆小ニシテ高

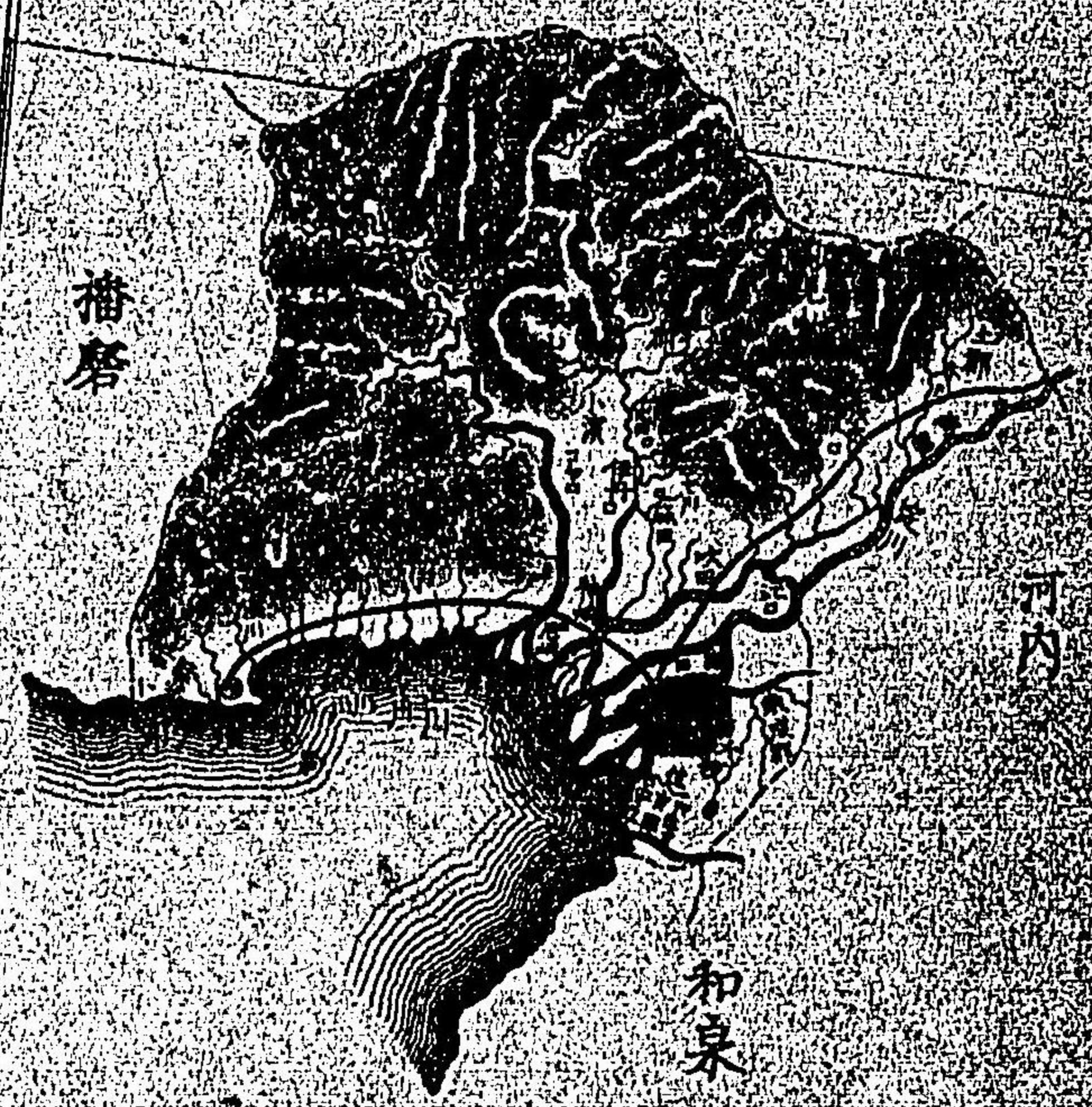
十丈ヲ出テス、犬鳴山ニモ、亦瀑布多シ、其ノ大ナルハ、布
引瀑ナリ、高三十六丈、幅三尺、恰白龍ノ天ニ上ラントス
ルカ如シ、コレニ次クハ、固津喜澤瀑ナリ、幅三尺、高十二
丈、其ノ他ハ、皆小ナリ、牛瀧山ノ牛瀧ハ、三層トナリテ下
タル、其ノ第一層ハ、高凡二十五丈、其ノ第二層ハ、高一丈
二尺、其ノ第三層ハ、高三丈六尺、層々相激シ、真ニ一奇觀
ナリ、

○産物

産物ハ、酒、油、醬油ノ類ニシテ、酒ハ、伊丹ニ及ハスト雖、製
造頗多シ、又撰糸、絹、麻布、木綿、絹帛、漆器、庖丁、鉄砲等ヲ出

タス、堺街鍛冶多シ、我國鐵砲ヲ製造セシハ、實ニ此ニ始
マルト云フ、又湊紙、線香、白粉、丹、朱、茶、烟草、壺焼、塩、松茸、
類ニシテ、魚鱗ハ、海鰻、鯛、鱸等ナリ、鯛ハ、茅渚、鯛ト稱シテ、
味最美ナリ、其ノ他、和泉石ヲ以テ、諸器ヲ製造シ、他國へ
輸出スルコト多シ、

攝津之圖



三十五度

日本地誌

タス、堺街鍛冶多シ、我國鐵砲ヲ製造セシハ、實ニ此ニ始
マルト云フ、又湊紙、線香、白粉、丹、朱、茶、烟草、壺焼、塩、松茸ノ
類ニシテ、魚鱗ハ、海鰻、鯛、鱸等ナリ、鯛ハ、茅渚鯛ト稱シテ、
味最美ナリ、其ノ他、和泉石ヲ以テ、諸器ヲ製造シ、他國へ
輸出スルコト多シ、

橋津之圖



日本地理誌 卷之三

攝津誌

位置

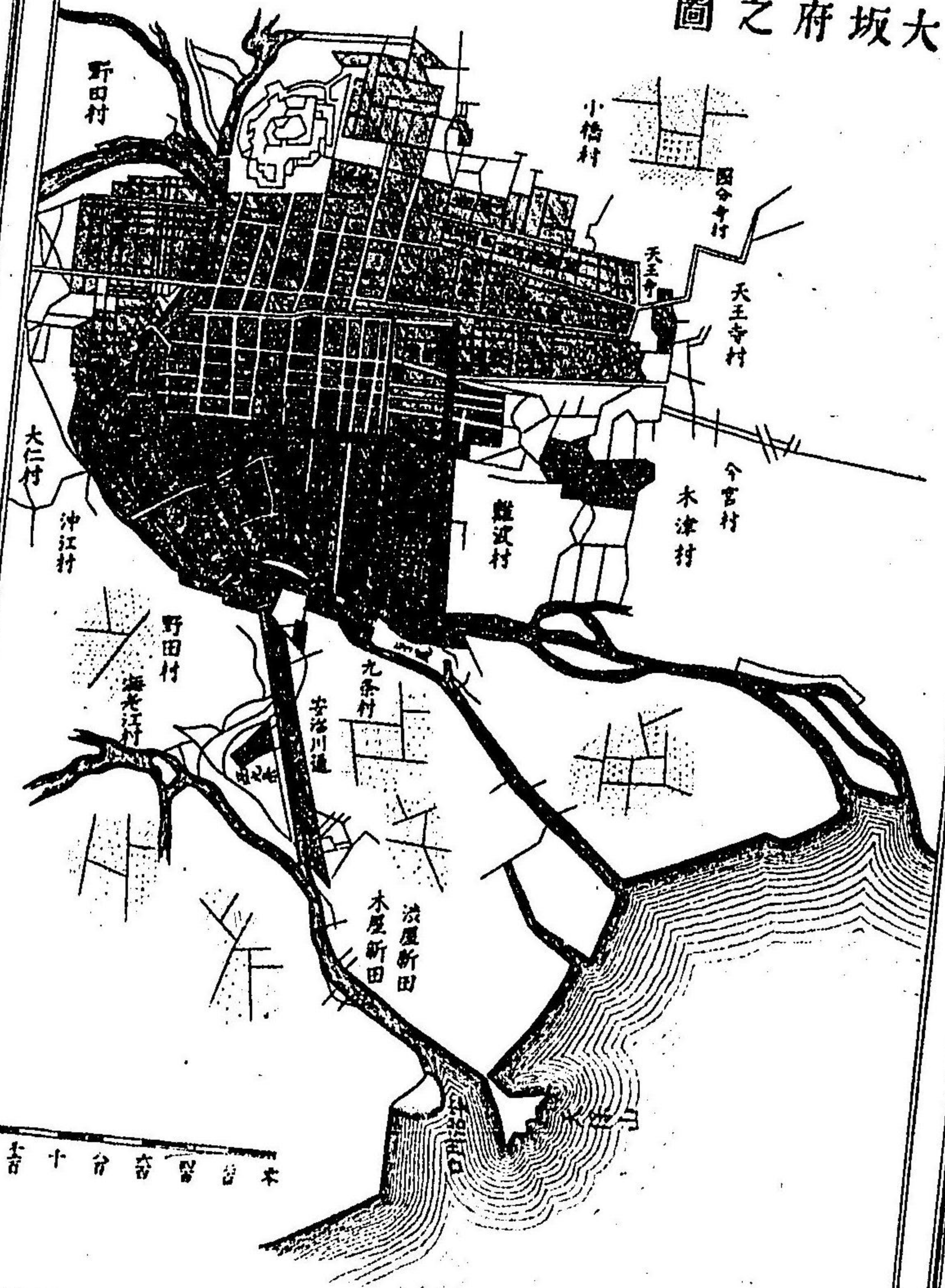
攝津國ハ畿内五國ノ一ニシテ、東ハ河内及山城ニ連リ、西ハ播磨ニ接シ、南ハ和泉ニ界シ、北ハ山城及丹波ニ隣ル、此ノ國、舊浪速國ト云フ、神武天皇紀ニ、戊午春二月、皇師遂ニ東シ、舳舻相接シテ、難波ノ崎ニ到ル、遇奔潮太急、ナリ、因リテ名ツケテ浪速國ト云フ、又浪華ト稱ス、今難波ニ作ルハ、謬ナリト云ヘリ、後津國ト云フ、津ハ港津ナリ、萬國ノ海舶、此ニ會スルノ義ナリ、天武天皇ノ六年、攝津職ヲ置ク、攝ハカスルナリ、是レ其ノ名ノ生マル所ニ

シテ、元明天皇ノ時、初テ津國ヲ改メテ攝津トス、諸社一
覽ニ攝ハ、宇彙ニ、靜謐ナリ、漢書ニ攝然トシテ天下安シ、
難波ノ堀江ハ、天下着船ノ津ナリ、天下靜謐ノ義ヲ以テ、
攝津ト名ツクト云ヘルハ、非ナリ、攝津名所圖會ニ、應神
天皇ノ時、初テ攝津ノ國號アリ、攝ハ、萬船ヲヒキオサメ
ルノ貌ト云ヘルモ、亦非ナリ、仁徳天皇難波ニ都ス、コレ
ヲ高津宮ト云フ、其ノ後、孝徳天皇長柄豊崎ニ都スコレ
ヲ豊崎宮ト云フ、天武天皇ニ至リテ、難波ノ宮ニ幸セラ
レ、攝津職ヲ置キ、其ノ後、又國司ヲ置ク、治承年間平清盛
安徳天皇ヲ奉シテ、都ヲ福原今兵庫ニ遷ス、幾ナラスシテ

舊都ニ復ス、元暦元年平氏再天皇ヲ奉シテ此ニ居リ、遂
ニ讃岐ニ奔ル、源頼朝ノ時、大内惟義ヲシテ守護タラシ
ム、建武年間楠正成守護トナリ、延元年間赤松範資國ノ
半ヲ得テ、文和年間佐々木秀詮コレニ代ル、應永年間細
川頼之守護タリ、其ノ後國亂相繼キ、群雄相競ヒ、其ノ間
殆ト八十餘年、天正年間織田信長、僧顯如ト戦ヒ、遂ニ和
ヲ講ス、豊臣氏ニ至リ、新ニ大城ヲ築ク、後秀頼徳川氏ト
隙ヲ生シテ、東軍コレヲ攻メ、城陷リ、豊臣氏ハ、徳川氏
ノ時、此ニ城代ヲ置キ、更ニ松平、永井、九鬼、青木等ノ小諸
候ヲ各地ニ封ス、天保年間大鹽平八郎ト云フモノ、亂ヲ

作シ市廳ニ逼ル事敗レテ出奔シ遂ニ自殺ス將軍家茂
 ノ毛利氏ヲ討ツ大坂城ニ入り軍半ニシテ薨ス將軍慶
 喜ノ職ヲ辞スル退キテ此ノ城ニ入り兵ヲ引キテ京師
 ニ入ラントス京兵コレヲ討ツ慶喜軍敗レテ江都ニ歸
 ル王政維新ノ後此ノ地ヲ以テ三府ノ一トシ大坂府ト
 稱シ知事參事ヲ置キ七郡ヲ管轄セシム曰ク島上曰ク
 島下曰ク豊島曰ク能勢曰ク西成曰ク東成曰ク住吉而
 シテ國ノ西ニ兵庫縣ヲ置キ五郡ヲ管轄セシム曰ク八
 部曰ク兔原曰ク兵庫曰ク川邊曰ク有馬是レナリ氣候
 ハ極暑九十度極寒四十度

大坂府之圖

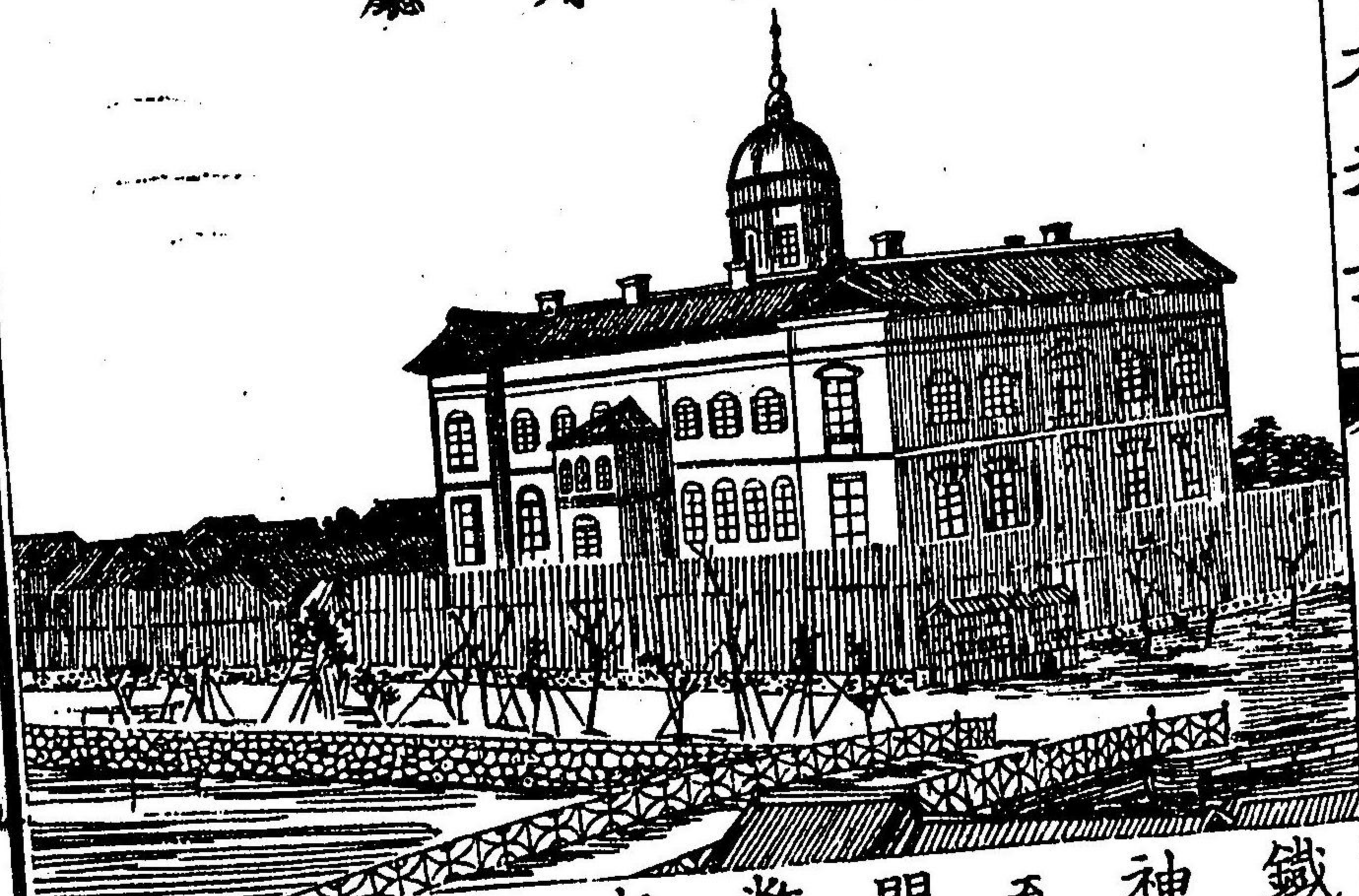


本圖各町十分百

○土地

大坂府ハ、三府ノ一ニシテ、東成、西成ノ二郡ニ跨リ、南海ニ瀕ス、府廳ハ、西成郡ノ江子島町ニアリ、抑此ノ府ハ、我國咽喉ノ地ニシテ、東西ノ貨物皆此ニ聚マリ、國內ノ豪賈多ク此ニ居ル、運輸ノ便、貿易ノ盛ナル實ニ此ノ地ニ過クルモノアラズ、府内ヲ四大區ニ分チ、每區又分ツニ小區ヲ以テス、市街五百二十九人、口二十七萬一千九百九十二人アリ、市街ハ、端正ニシテ、清潔ナリ、溝渠縱橫、架スルニ橋梁ヲ以テス、其ノ最繁華ナルヲ心齋橋トシ、日本橋トシ、今橋トシ、淀屋橋トス、其ノ他屈指ニ暇アラズ、

大阪府廳



鐵道局アリ、鐵路海ヲ環リテ
神戸ニ至リ又山ヲ穿テ西京ニ
至ル、電信局アリ東西千里瞬
間ニ達ス、造幣局アリ、金銀貨
幣ヲ鑄造スル日ニ盛ナリ、學
校アリ、教育ノ法至レリ、鎮臺
アリ、精兵常ニ變ニ備フ、其ノ
他、病院、銀行等備ハラサルモ
ノナシ、而シテ其ノ建築ハ皆
西洋風ニ倣ヒ、頗壯觀ナリ、又

公園アリ、競馬場アリ、府ノ西、松島ハ外國ノ互市場ニシ
テ、各國領事ノ居館極テ美ナリ、府ノ南、天保山ハ、海面ニ斗
出シ、燈臺アリ白色ノ燈光舟行ノ便ニ供ス、天保年間大坂諸
川ヲ浚ヒ、土沙ヲ此ニ運シテ山ヲ作ル故ニ天保山ト云
フ、風景絶佳ナリ、先年此ノ地ヲ以テ外國貿易ノ埔頭ト
スルノ議アリシカ、事行ハレズ、又大坂城ハ、豊臣氏ノ築
ク所ニシテ、高壁深濠、有名ノ大城ナリシカ、今ハ只其ノ
牙城ヲ存ス、其ノ他、府下縱遊ノ地ハ、天王寺、高津座摩等
ニシテ、道頓堀ノ劇場、新町、北野、新地ノ妓樓、晝トナク夜
トナク、喧嘩雜沓ナリ、凡此ノ府ノ風俗ハ、大抵山城ニ似

タリト雖、心性頗狡猾ナリ、間俠氣ヲ帶フルモノアリ、婦人ノ肌膚雪白ナリト雖、京師ニ比スレハ、鄙ナリ大坂ノ名ハ、一説ニ大江坂ノ畧訓ニシテ、大江ハ難波江ノ一名ナリト、然レトモ何レノ時ヨリ名ツケシヤ、詳ナラス、明應年間僧蓮如ノ書キタル文章ニ、攝州東生郡生玉庄内ノ大坂トアレハ、其ノ頃ハ封境猶狹カリシナラン○住吉郡ハ、北ハ東成、西成ノ二郡ニ隣リ、東ハ河内ノ澁川ハ上丹比ノ三郡ニ接シ、南ハ和泉ノ大鳥郡ニ界シ、西ハ海濱ニ臨ム、全郡五十六村、此ノ郡ノ市場ハ住吉ヲ最トス、市坊一十、人口三千六百人、住吉神社アリ、即官幣大社ノ

一ニシテ、祭神ハ底筒男命、中筒男命、表筒男命、息長帶姫命ノ四座トス、堂宇宏壯ニシテ、境地モ亦廣シ、例祭ハ毎年八月十三日ナリ、凡大坂ニ遊フモノハ、沐浴シテ必先此ニ賽ス、此ノ海濱和歌名勝ノ地多シ、古人ノ歌ニ、墨江住吉、細江住吉、浦住吉、岸住吉、岸田住吉、岡住、江津住吉、里墨、江池、津守、浦、長居、池、長居、浦、出見、濱、粉濱等咏ミタル、是レナリ、春風三月海潮ノ退クニ際シ、遠近ノ老幼來リテ蛤蜊ヲ拾ヒ、以テ一勝遊トス、又地ニ住吉舞ト稱スル者アリ、僧徒五六人一隊タリ、一僧大傘ヲ建テ、竹片ヲ執リ、其ノ柄ヲ叩キテ節ヲ按ス、他僧皆傘下ニ環舞ス、今三府

共ニ行ハル、又新家ハ、酒樓多シ、魚鮮ニシテ酒美ナリ、其ノ傍ナル天下茶屋ハ、秀吉駕ヲ駐メシ所ナリ、故ニ名トス、天下ハ、舊殿下ニ作ルト云フ、紀泉往來ノ客、住吉賽詣ノ徒、必此ノ地ヨリス、茶店ノ婦女、紅裙ヲ着ケ、客ヲ呼フコト頻ナリ、又平野ハ、郡ノ東ニアリテ、工商群居、一ノ繁昌地ナリ、人口一千四百九十五アリ、牛頭天王ノ社記ニ、住吉郡平野郷ハ、古昔抗全庄ト云フ、嵯峨天王ノ時、坂上廣野麻呂、此ノ地ヲ賜ヒシヨリ、子孫此ニ居ルコト久シ、因リテ地ヲ廣野ト呼フ、後轉シテ平野トナリシト、巨刺アリ、大念佛寺ト云フ、融通念佛宗ニシテ、天治二年僧良

忍ノ開基ナリ、安立町ハ、郡ノ南ニアリテ、亦一繁華地ナリ、人口一千四百三十九アリ、○東成郡ハ、東ハ、河内ノ澁川若江、茨田ノ三郡ニ隣リ、西北ハ、西成郡ニ界シ、南ハ、住吉郡ニ接ス、郡ノ半、大坂府ニ屬セリ、全郡五十八村、天王寺村ハ、市坊二十、人口一万六千五百六十人アリテ、頗繁華ナリ、四天王寺アリ、用明天皇ノ二年、厩戸皇子ノ開基ニシテ、舊玉造岸ニアリシヲ、推古天皇ノ元年、今ノ地ニ移ス、元弘年間、楠正成、此ニ陣シ、隅田、高橋等ヲ討チテ、功アリ、此ノ時、正成皇子ノ未來記ヲ披見セリト、事太平記ニ詳ナリ、天正年間、堂宇兵火ニ罹リ、豊臣氏再コレヲ建

元和年間亦兵火ニ罹リ、徳川氏復コレヲ建ツ、兵火ニ
罹ル屢ナリト雖、今猶古器古書畫ヲ藏スルコト夥シ、其
ノ傍ナル一心寺モ亦大寺ニシテ、僧源空ノ開基ナリ、古
器古書畫ヲ藏スル多シ、阿部野ハ天王寺村ノ南ニシテ、
住吉ノ路ニ中リ、北畠顯家ノ墓アリ、顯家ハ親房ノ子ニ
シテ、初正成義貞等ト共ニ賊軍ヲ伐チ、陸奥守トナリ、鎮
守府將軍ニ任セラル、賊軍ノ再京師ヲ侵ス、顯家大兵ヲ
率キテ、先鎌倉ヲ攻メ、美濃ヲ襲ヒ、伊勢ヲ經テ、大和ニ入
ル、其ノ間一勝一敗アリ、延元三年五月又敗兵ヲ收メテ、
此ノ地ニ軍ス、高師直來リ襲フ、將軍二十餘騎ト圍ヲ衝

キテ死ス、時二年二十一、又兼好ノ舊蹟アリ、兼好ハト部
兼顯ノ子ニシテ、大織冠ノ後裔ナリ、後宇多天皇ノ時、武
衛ノ次將トナル、後髮ヲ削リ、四方ニ流寓ス、博聞強記最
和歌ニ長ス、其ノ著ス所ノ徒然草ハ、文意幽妙ニシテ、後
世ノ法トスヘキモノ多シ、兼好常高師直ノ家ニ遊ヒ、為
メニ艶簡ヲ作ル、後人或コレヲ誹ル、大坂城ノ南、生玉ニ
生國靈神社アリ、官幣大社ノ一ニシテ、祭神ハ、生島神、足
島神ノ二座トス、古昔此ノ社、今ノ大坂城ノ地ニアリシ
カ、豊臣氏ノ時、此ニ遷セリト云フ、老幼群賽、境内極メテ
雜沓ナリ、例祭ハ、毎年九月九日ナリ、其ノ傍ナル高津ハ、

眺望絶佳ノ境ニシテ、遊人常ニ多シ、仁徳天皇ノ社アリ、高津宮ノ舊址ハ、今詳ナラス、或ハ百濟野、猪甘野、味生野ノ邊ナラント云ヘリ、城ノ東北、野田村ニ紫藤アリ、他ノ老樹ニ絡ヒ、花空中ヨリ垂ル、其ノ風致最愛スベシ、古來吉野ノ櫻、高雄ノ楓ト並ヘ賞セラル、モ亦宜ナリ、又中野村櫻宮ニ櫻樹多シ、春日遊人踵ヲ接シテ到ル、是レ亦一ノ勝地ナリ、此ノ郡古戰場多シ、徳川家康ハ大坂城前、後ノ戦ノ如キハ、其ノ最著名ナルモノナリ、○西成郡ハ、南ハ住吉郡ニ界シ、西ハ海ニ臨ミ、北ハ島下、豊島二郡ニ接シ、東ハ東成郡ニ隣ル、全郡一百二十四村、難波村ハ、人

口四千九百七十八アリテ繁華雜沓ナリ、瑞龍寺ハ、其ノ創立ノ年月詳ナラス、寛永年間僧鉄眼、中興セリ、因リテ人皆呼ビテ鉄眼寺ト云フ、其ノ南、木津村、今宮村モ亦繁華地ニシテ、木津村ハ、人口三千七百二十四アリ、古昔四天王寺創立ノ時、材木ヲ此ノ岸ニ輸ス、因リテ木津ト云フト、今宮村ハ、人口一千二百六十七アリ、總テ此ノ海濱ヲ難波、沖ト稱ス、古人ノ歌ニ、難波、海、難波江、等咏メル、皆一ナリ、其ノ他、菟島村、大和田村ハ、人口各二千有余アリ、曾根崎村、福村、大野村ハ、人口各一千有余アリ、皆農商聚集ノ地タリ、又長柄村ハ、長柄川ノ涯ニ在リテ、豊崎宮及

長柄橋ノ舊址アリ、古來傳ヘ言フ、長柄橋ヲ造ルニハ、人
身ヲ以テ柱トスルニ非サレハ、成ラスト、恠談笑フベシ、
其ノ東北、江口村ハ、舊港津ニシテ、娼家アリ、名妓江口君、
此ニ居リシコト、西行ノ撰集抄ニ詳ナリ、又江口ノ城址
アリ、攝津志ニ初、江口村ニアリシカ、後下新庄村ニ移ス、
一ニ中島城ト云フ、天文年間、三好長慶ノ從弟宗三、此ニ
據リシカ、長慶ト隙アリ、殺サル云々、巨利ハ、和光寺、大融
寺、源光寺等アリ、○島下郡ハ、東ハ島下郡ニ界シ、西ハ豊
島、能勢ノ二郡ニ接シ、南ハ西成及河内ノ茨田郡ニ連リ、
北ハ丹波ノ桑田郡ニ界ス、全郡一百零三村アリ、此ノ郡

ノ繁華場ヲ茨木トス、人口二千四百五十九人、市坊三十
ニアリ、高賈四集、貿易頗盛ナリ、城址アリ、古昔福富氏ノ
築キシ所ニシテ、後中川清秀、片桐且元等、此ニ主タリ、其
ノ北、太田村ニ、繼體天皇ノ陵アリ、三島藍野陵ト云フ、茶
臼山ト字ス、天皇諱ハ男大迹、應神天皇五世ノ孫ナリ、武
烈帝崩シテ、嗣ナレ、群臣相議シテ、帝ヲ越前ニ迎ヘ、コレ
ヲ立ツ、在位二十五年、壽八十二、又吹田トス、市坊一十六、
人口三千六百六十一人、河濱ニ在リテ、運輸頗便ナリ、又
郡山トス、郡山ノ北、勝尾寺ニ、光明天皇ノ陵アリ、勝尾寺、
東谷ト號ス、後醍醐帝ノ吉野ニ幸セラル、足利尊氏コ

レヲ立ツ、在位十二年ニシテ、位ヲ太子興仁ニ譲リ、薙髮シテ僧トナリ、此ニ崩ス、壽六十、此ノ寺、舊彌勒寺ト號ス、開成皇子ノ開基ナリ、總持寺ハ、其ノ東總持寺村ニアリ、テ、藤原山蔭ノ創建ナリ、勝尾寺ト共ニ郡中ノ巨刹タリ、○島上郡ハ、東南ハ、淀川ヲ帶ヒ、西ハ島下郡ニ界シ、北ハ河内、山城、丹波三國ニ接ス、全郡六十村、高槻城ハ、古昔高月ニ作ル、近藤連此ニ主トシテ、高月殿ト稱ス、天正年間、高山友祥、主タリ、荒木村重ノ異志アル、友祥コレニ黨ス、信長友祥ノ天主教ヲ尊崇スルヲ聞キ、教主伴天連ヲ召シ諭サシム、友祥乃降ル、元和年間土岐氏、松平氏等主タ

リ、慶安年間ニ至リ、永井氏此ニ封セラレ、三萬六千石ヲ領ス、永井氏ノ先直勝ハ、初長田傳八郎ト稱シ、後永井右近大夫ト改ム、徳川氏ニ事ヘ、長歛ノ戰ニ、敵將池田信輝ノ首ヲ斬リ、勇名一時ニ鳴ル、此ノ地、運輸便利ニシテ、市街一十六人、口四千二百八十一人アリ、又市場ハ、富田ナリ、芥川ナリ、富田ハ、市坊二十二、人口二千七百八十九人アリテ、商賈聚集ス、其ノ東、三島江村ハ、古人ノ歌ニ、玉江、三島江浦等咏メル勝景ノ地ナリ、淀川溶々トシテ、東北ヨリ來リ、初夏杜宇ノ曉、秋風新雁ノ夕、吟客騷人來リ賞スル者多シ、其ノ傍玉川ハ、所謂六玉川ノ一ニシテ、能ク

古人ノ歌ニ入ル、芥川ハ、人口一千二百三十二アリ、城址アリ、古昔芥川氏ノ築ク所ニシテ、永正年間三好氏ノ一族、此ニ據ル、其ノ東、櫻井里ハ、古驛ナリシカ、今ハ寂々タル一小村トナル、正成其ノ子正行ニ訣別セシ所ナリ、其ノ傍、東大寺村ニ瀑布アリ、水無瀨ト云フ、二層トナリテ下タル、一層ハ、七尺五寸、一層ハ、二丈二尺ナリ、其ノ南、廣瀨村ニ、水無瀨宮アリ、官幣中社ノ一ニシテ、祭神ハ、後鳥羽天皇、土御門天皇、順徳天皇ノ靈ナリ、大寺ハ、神峰山寺、本山寺、金龍寺等ニシテ、伊勢寺ハ、小寺ナレトモ、大織冠九世ノ孫、藤原繼蔭ノ女、伊勢ノ開基ナルヲ以テ、其ノ名

著ル、伊勢ハ、博學ニシテ和歌ヲ能クシ、伊勢物語、伊勢集等ヲ著ス、○豊島郡ハ、東ハ島下郡ヲ限リ、西ハ河邊郡ニ隣リ、南ハ西成郡ニ面シ、北ハ能勢郡ヲ背ニス、全郡八十ニ七村、此ノ郡ノ繁華場ハ、池田ナリ、麻田ナリ、池田ハ、人家スル者、皆池田、伊丹トス、此ノ地、是レナリ、市街一十六人、口五千一百二十六人アリ、其ノ傍ニ、吳織、穴織ノ二神社アリ、應神天皇ノ三十七年、使ヲ吳ニ遣リ、縫工女ヲ求メシム、吳織、穴織等、四人來朝シテ、其ノ術ヲ傳フ、是レ我國織工ノ初ナレハ、祭リテ神トスルモ亦宜ナリ、麻田ハ、舊青

木氏ノ封土タリ、青木氏ノ先、民部少輔丹治一重ハ、美濃國ノ住人ニシテ、徳川氏ニ事ヘ、各地ノ戦ニ功アリシカ、故アリ、去リテ豊臣氏ニ事フ、大坂役ノ後、再徳川氏ニ事ヘ、寛永年間此ノ地ニ封セラレ一萬石ヲ領ス、此ノ郡ノ城址ハ、池田有岡止々呂美等ナリ、止々呂美ハ、多田滿政ノ後裔、馬場信高主タリシト云フ、池田ハ、池田氏世々主タリシカ、天文年間細川晴元ノ有トナリ、永録年間再池田氏ノ有トナル、有岡ハ、池田勝入信輝ノ居リシ所ト云フ、大寺ハ、瀧安寺、久安寺、大廣寺等ナリ、皆勝景ノ地ニ在リ、殊ニ瀧安寺ノ如キハ、箕面山上ニアリテ、瀑布アリ、直

下十一丈一尺、恰銀河ノ九天ヨリ落ルカ如シ、此ノ溪間楓樹多シ、秋風ノ候、遊人來リ賞ス、久安寺ノ傍、畑村ニ、石澄瀑アリ、二層トナリテ下タル、一層ハ、高六丈三尺、一層ハ、三丈五尺、下流ヲ小蟹川ト云ヒ、箕面川ニ入ル、〇能勢郡ハ、東ハ島下郡ニ界シ、西ハ河邊郡ニ隣リ、南ハ豊島郡ニ面シ、北ハ丹波ノ桑田郡ニ連ル、全郡四十村、此ノ郡ノ北、山脈ヲ帶ヒ、余野、山邊、宿野、栗栖、吉村、今西、長谷、上杉等ノ城址アリ、又古戰場多シ、市場ハ、地黃町ヲ盛ナリトス、下田尻村名月山ニ、銀礦アリ、出額ハ、三年間ニ三貫目ナリ、又同所ニ、銅礦アリ、三年間ノ出額、三萬二千零三十九

貫目ナリ、○河邊郡ハ、東ハ豊島、能勢二郡ニ隣リ、西ハ武庫、有馬二郡ニ接シ、南ハ海ニ濱シ、北ハ丹波ニ界ス、全郡一百七十八村、此ノ郡ノ市場ハ、尼ヶ崎、伊丹、小濱、昆陽、神崎等ナリ、尼ヶ崎ハ、郡中第一ノ繁華地ニシテ、市坊四十四、人口一萬二千四百零四人アリ、城堡アリ、舊名ハ、大覺城、大永年間、細川尹賢コレニ居ル、元龜年間、池田信輝、所屬トナリ、元和年間、戸田氏ノ得ル所トナル、後松平氏世コレヲ有ス、松平氏ノ先信定ハ、三河國櫻井城ニ居リ、テ、櫻井氏ヲ稱セシカ、後櫻井ノ松平ト稱ス、徳川氏ノ外戚ナリ、寶永年間、此ニ封セラレ、四萬石ヲ領ス、此ノ地僧

契沖ノ生レシ所ナリ、契沖ハ、下川元全ノ子ニシテ、博ク和漢ノ書ニ通シ、最和歌ニ長ス、元録十四年、寂ス、伊丹ハ、繁華市場ニシテ、市街二十八人、人口三千五百零八人、巨商群居、酒ヲ製スルノ家多シ、其ノ味池田ト並ヒ稱セラレ、其ノ傍ニ、城址アリ、荒木村重ノ築ク所ナリ、永録年間、村重將軍義昭ヲ奉シ、伊丹城ニ據ル、織田氏コレヲ攻メテ、城陷ル、伊丹ノ北多田莊、多田ニ源滿仲ノ墓アリ、滿仲ハ、清和天皇ノ後孫ニシテ、六孫王ノ子ナリ、是レヲ源家ノ祖トス、武勇ヲ以テ王家ニ功アリ、後剃髮シテ、滿慶ト號ス、當院ニアリテ卒ス、其ノ傍鼓ヶ瀧ハ、古昔飛泉高數十

大ナリシカ、今ハ急流石ニ激シテ、白珠ヲ飛ハスノ三鼓
ノ名空シ、此ノ地ニ銀礦三所アリ、永盛山ノ出額ハ、一年
ニ七百一十三匁七分、多田山ハ、一年ニ四百零四匁一
分、間歩山ハ、半年ニ二百一十匁ナリ、又平野ニ温泉アリ、
湯槽數所、泉質ハ、明礬鹽氣ニシテ、能ク痼疾ヲ治ス、故ニ
浴客常ニ多シ、此ノ郡ノ大寺ハ、中山寺、本興寺、滿願寺等
ナリ、本興寺ハ、僧日隆ノ開基ニシテ、應永年間ノ創建ナ
リ、中山寺ハ、用明天皇ノ二年、厩戸皇子ノ開基ナリ、滿願
寺ニ、瀑布アリ、最明寺、瀑布ト云フ、高五丈幅三間アリ、○武
庫郡ハ、東ハ河邊郡ニ隣リ、西ハ菟原郡ニ接シ、北ハ有馬

郡ニ到リ、南ハ海ニ面ス、全郡五十六村、西ノ宮ハ、此ノ郡
第一ノ繁華場ニシテ、行旅來往、商賈貿易頗盛ナリ、人口
八千六百アリ、亦酒ヲ製スルノ家多シ、此ノ邊ノ水、最酒
ニ宜シ、故ニ四方ノ酒家多クハ、水ヲ此ニ求ム、水ノ價甚
貴シ、里言ニ一井一戸ヲ養フベシト云ヘリ、成尾村ハ、人
口二千四百五十七アリテ、西ノ宮ノ東ニアリ、觀海美景
ノ地ニシテ、西瓜ヲ産ス、鳴尾里、鳴尾泊、鳴尾浦、鳴尾沖等、
古人ノ歌ニ入ル多シ、地ニ松岡、城址アリ、觀應年間、足利
尊氏、高師直等、軍敗レテ、此ニ據リ、策盡キテ自殺セント
ス、時ニ尊氏饗場氏直ノ報知ヲ得テ、挺身京師ニ入ル師

直為ス所ヲ知ラス、城ヲ出テ、上杉顯能ノ兵三浦某ニ
 斬ラル、今津村ハ、成尾ノ西北ニアリテ、人口二千六百五
 十二人亦一市場ナリ、其ノ北廣田村ニ、廣田神社アリ、祭
 神ヲ撞賢木巖之御靈天疎向津媛命ノ二座トス、例祭ハ
 毎年三月十六日ナリ、其ノ傍越水村ニ、城址アリ、永正年
 間細川高國ノ所屬ナリシカ、三好氏コレヲ拔キテ、其ノ
 主トナル、伊乃志村ハ、郡ノ東北隅ニアリテ、温泉アリ、泉
 質鹽氣ニシテ、濕瘡ニ宜シ、此ノ郡ノ海濱ヲ武庫浦ト云
 フ、武庫海、武庫島、武庫豆等、古人ノ歌ニ入ル、○菟原郡ハ、
 東ハ、武庫郡ニ界シ、西ハ、八部郡ニ隣リ、北ハ、有馬郡ヲ帶

ト、南ハ、海ニ面ス、全郡五十一村、此ノ郡海濱ニ沿ヒテ、驛
 路アリ、行旅來往頻ナルヲ以テ、村トシテ酒樓茶亭無キ
 ハナシ、又酒ヲ製スルノ家多シ、其ノ最盛ナルヲ御影村
 トス、人口三千四百三十五アリ、此ノ地石工多シ、其ノ石
 ハ、武庫山ヨリ産シテ、石質極メテ堅シ、コレヲ御影石ト
 云フ、即花崗石ナリ、其ノ南、東明村ハ、新田足利ノ古戰場
 ニシテ、足利ノ兵、義貞ヲ圍ムコト急ナリ、小山田太郎奮
 戦シテ死ス、義貞因リテ虎口ヲ脱スルコトヲ得タリ、即
 求女塚ノ地ナリ、求女塚ノ事、大和物語ニ詳ナリ、郡ノ北、
 芦屋村ハ、和歌名勝ノ地ニシテ、鷹尾城ノ址アリ、永正年

間細川高國ノ有トナリ其ノ臣尾林某ヲシテ主タラシム、細川淡路守此ヲ圍ムコト、屢ニシテ城遂ニ陷キル、此地銅礦アレトモ、未業ヲ起スモノアラス、郡ノ南、生田森ハ、攝津名所刊行ニハ、八郡ニ從フル、古戰場ナリ、壽永元曆年間ハ、源平二氏ノ戦アリ、延元年間ハ、新田、足利ノ戦アリ、其ノ傍ナル生田神社ノ境内、櫻樹多ク、春候遊人來ル、其ノ西、摩耶山ニ、天上寺アリ、此ノ郡ノ名刹ナリ、又城址アリ、天嶮ノ地ヲ占ム、正慶年間、赤松圓心、此ニ主タリ、六波羅ノ兵、大舉シテ來リ攻ム、克クスシテ走ル、其ノ傍、熊内村ニ、瀑布アリ、布引ト云フ、其ノ幅二間、二層トナ

リテ落ツ、一ハ、高十五丈八尺、一ハ、七丈三尺余アリ、又温泉アリ、泉質鹽酸ノ氣多ク、羸弱ノ症ニ宜シト云フ、○ハ部郡ハ、一ニ矢田部ニ作ル、東ハ、菟原郡ニ隣リ、西ハ、播磨ニ接シ、南ハ、海ニ濱ス、全郡三十八村、兵庫縣廳ハ、神戸松屋町ニアリテ、河邊武庫、菟原ハ、部有馬ノ五郡ヲ管ス、市街兵庫ニ連リテ、九十七街、人口四萬零九百人アリ、此地海陸運輸至便ノ境ナルヲ以テ、巨商群集シ、貨物輻輳ス、慶應三年丁卯五月、外國貿易ノ一場トナリシヨリ、益繁華ノ地トナリ、市街行路、清潔ナル、外人居館ノ宏壯ナル、復舊時ノ比ニ非ス、現今我國外國貿易ノ繁盛ナル

ハ、横濱ヲ以テ第一トスト雖、破泊ノ便ナルハ、此ノ地ニ過クル所無シ、兵庫ハ、福原ノ古都ニシテ、其ノ傍ノ築島ハ、平清盛ノ築キシ所ナリ、其ノ南、和田岬ハ、建武三年尊氏上洛ノ時、官軍本間孫四郎重氏、弓箭ノ名譽ヲ得タル所ナルヲ以テ、一二遠矢濱ト云フ、平沙東南ニ斗出シ、頗好風景ノ地ニシテ、砲臺アリ、又燈臺アリ、海濱ニ浴ヒテ、西行スルコト數里、須磨ニ至ル、此ノ里ハ、古來月明ヲ賞スルノ勝地ニシテ、文人墨客此ニ遊フモノ多シ、地ニ須磨寺アリ、平敦盛ノ遺物ヲ藏ス、若木ノ櫻ト稱スル樹アリテ、武藏坊辨慶為ニ一技ヲ折ラハ、一指ヲ切ラント禁

牌ヲ書セリ、其ノ東、駒林村ハ、人口二千三百十一アリテ、人家稠密ナリ、此ノ郡、有名ノ古戰場ハ、一ノ谷ナリ、源賴朝ノ二弟、範賴、義經等、大舉シテ平氏ヲ攻メ、大ニ此ニ戦ヒ、平氏ノ諸將多ク死ス、宗盛、安徳天皇ヲ奉シテ、西海ニ入ル、又淡川ナリ、尊氏再九州ノ兵ヲ率キテ、京師ヲ侵ス、正成、義貞等コレヲ拒キテ、正成遂ニコレニ死ス、此地是レナリ、モト一堆ノ古墳アリシカ、元録年間、水戸黃門光圀碑ヲ建テ、精忠ヲ表シ、人臣ノ龜鑑トス、王政維新ノ後、更ニ堂宇ヲ建テ、コレヲ祭ル、例祭ハ、毎年七月十二日ナリ、古戰場多キニ因リテ、古墳モ亦多シ、新中納知盛子

知章ノ墓、監物太郎頼方ノ墓、越前三位通威ノ墓、木村源吾重章ノ墓ハ、皆尻池村ニアリ、越中前司威俊ノ墓ハ、長田村ニアリ、薩摩守忠度ノ墓ハ、駒林村ニアリ、三谷ノ敦盛ノ塔、真光寺ノ清威ノ塔ハ、皆後並建テタルモノナレトモ、其ノ名著ハル寺院ハ、真光寺ヲ大ナリトス。○有馬郡ハ、南ハ武庫、菟原、八部、三郡ニ接シ、北ハ丹波ノ多紀郡ニ界シ、東ハ河邊郡ニ隣リ、西ハ播磨ハ三木、加東ノ二郡ニ連ル、此ノ郡ノ市場ハ、三田、湯山ヲ最トス、三田ハ舊九鬼氏ノ封地ニシテ、丹波播磨ノ驛路ナリ、人口二千二百九十一アリ、九鬼氏ノ先守隆ハ、志州鳥羽城ニ主トシ

テ、徳川氏ニ事ヘ、各地ノ戦ニ功アリ、其ノ子久隆ハ、時此ノ地ニ封セラレ、三萬六千石ヲ領ス、其ノ北ニ原野アリ、志手原野ト云フ、東西一里十五町、南北一里三十町、湯山ハ、有馬ノ山間ニシテ、温泉アリ、能ク痼疾ヲ治ス、最濕瘡、脚氣等ニ宜シ、故ニ遠近ノ人來リ浴シ、旅亭酒樓頗多シ、人口一千三百二十八アリ、其ノ傍ニ鼓ヶ瀑アリ、高三丈六尺、溪間櫻樹アリ、又楓樹アリ、浴客常ニ徘徊ス、又此ノ郡城址多シ、有馬ノ城址ハ、湯山ニアリ、天文年中三好宗三コレニ居ル、生瀬ノ城址ハ、生瀬村ニアリ、三木某ノ築ク所ナリト云フ、松原ノ城址ハ、道場川原ニアリテ、松原

其コレニ居リシカ、伊丹ノ荒木氏ニ滅サレシト云ヘリ、
香下ノ城址ハ、香下村ニアリ、建武年間赤松氏ノ所屬タ
リ、松山ノ城址ハ、川除村ニアリ、松山三河守コレニ居リ
シト云フ、大寺ハ生瀨村ノ淨橋寺ナリ、僧善惠ノ開基ニ
シテ、宇津宮蓮生ノ塔アリ、又古鐘アリ、法然上人ノ寄附
セシ所ト云フ、全郡九十四村アリ

○山川

川流ノ大ナル者ヲ淀川トス、國ノ東北ヨリ來リ、江口ニ
至リ、分レテ西ニ流ル、コレヲ神崎川トス、尾崎ニ至リテ
海ニ入ル、又長柄ヨリ分流スル者ヲ中津川ト云フ、而シ

テ正流ハ、大坂城ヲ過キ海ニ入ル、其ノ下流ヲ安治川ト
ス、大坂府ハ、古ヨリ河道縱横、溝渠萬條、水患極メテ多シ、
天和年間官大ニ治河ノ役ヲ興シ、隄防ヲ築キ、河道ヲ決
シ、人民始メテ魚鼈タルコトヲ免ル、此ノ役ヤ河村瑞賢
安治ノ功半ニ居ル、故ニ安治ヲ以テ川ノ名トス、淀川ハ、
舊舟楫ヲ上ホスコト、甚難カリシカ、近來小瀛船ヲ浮ヘ
テ、上下スルコト頃刻ニシテ達スヘシ、故ニ運輸便利ノ
河道トナル、又大和川ハ、國ノ南境ヲ流ル、其ノ源ハ、大和
ヨリ發シ、河内和泉ヲ過キテ、住吉郡ニ入り、海ニ注ク、此
ノ河道ハ、即天和ノ役ニ鑿通セル所ナリ、此ノ川古ハ、河

内ヨリ流レテ大坂城ノ東ニ來リ、淀川ニ入ル、又池田川
一ニ猪ハ、其ノ源能勢郡ヨリ來リ、河邊郡ニ入り、多田ノ
名川ヲ過キ、南流シテ神崎川ニ入ル、又有馬川ハ、其ノ源ヲ
有馬郡ノ山間ヨリ發シ、南流シテ海ニ入ル、其ノ他、武庫
川、津戸川、芦屋川、生田川、湊川等アリ、皆武庫、摩耶、連山ノ
溪澗ヨリ發シテ海ニ入ル、然レトモ平時水ナシ、山峰ノ
大ナル者ヲ武庫山トス、一ニ六甲山ト云フ、上原新田ヨ
リ五里、山巔ニ神功皇后ヲ祭ル、又鐵桿峰トス、義經ノ一
ノ谷ヲ攻ムル、此ノ峰ヨリス、其ノ傍、鶉越ハ、行路極メテ
險ナリ、又麻耶山トス、再度山トス、龜山トス、神峰山トス、

勝尾山トス、神撫山トス、允テ國ノ西北境ハ、山脈播磨、丹
波ニ連リ、山名屈指ニ暇アラス、○兵庫港ハ、波穩ニ水深
クシテ、最碇泊ニ便ナリ、故ニ賈船帆檣林ノ如ク、國內第
一ノ良港ト稱セラレ、其ノ碇泊場ハ、東西八町四斗二間、
南北十九町四十七間、深九九仞、神戸港ハ、其ノ傍ニアリ
テ、碇泊場ハ、東西十町十八間余、南北十五町五十二間、深
三仞ヨリ五仞ニ至ル、其ノ他、巨船ヲ繫クヘキ場ハ、西ノ
宮ノ海天保山ノ邊ナリ、

○産物

産物ハ、酒、油、鹽、紙、木綿ノ類ニシテ、又陶器、藤筵、菅笠等ヲ

リ、菜蔬ハ、大根、天王寺、蕪、胡蘿蔔、松茸、松露等ナリ、魚鱗ハ、
鰯、鯛、蝦、望潮、魚、蛤、蜆ノ類ニシテ、又、花崗石、豊島石ヲ産ス、
ルコト夥ク、河邊有馬ハ、部能勢ノ諸郡ヨリハ、銅ヲ出タ
セリ、

日本地誌卷三終

定價 十五錢

版權免許
出版

明治十二年九月二十日
今十二年一月十五日

編輯
出版人
東京板橋區金杉村百四十五番地
静岡縣土族
飯島半十郎

發兌
今日本橋區馬喰町三丁目一番地
石川治兵衛

